

福祉のリーダーを養成する

日本社会事業大学

Japan College of Social Work

福祉の リーダーを 養成する

あらゆる人々の暮らしに寄り添い、
当たり前の幸せを支える「福祉」。
ソーシャルワーカーは、
一人ひとりが抱える困難と向き合うとともに、
時には社会を俯瞰して問題の解決に広く貢献します。
誰かの幸せを願う心をもって
未来を明るく灯し、
世代や立場の垣根を越えて
その人がその人らしく生きる人生を、
そして、豊かで幸せな社会を紡ぎます。

日本初の福祉専門大学として誕生し
「日本の福祉をリードする人材の養成」という使命を胸に
その最前線を歩み続けてきた日本社会事業大学。
自らの道を拓き、社会の幸せに寄与したいと望む人を、
私たちは待っています。

— 灯し、紡ぐ人になろう。 —

INDEX

日本社会事業大学の特長

- 特集1 日本社会事業大学を知る**
- 03 「灯し、紡ぐ人になろう」
歴史・沿革
 - 04 理事長メッセージ／学長メッセージ
 - 05 建学の精神／教育目標
 - 06 3つのポリシー
 - 07 「学びを紡ぐ」
少人数教育
 - 08 ソーシャルワーク実習教育
 - 09 生涯学習
 - 10 同窓会ネットワーク
 - 11 「解を灯す」
研究者紹介
 - 15 「未来を紡ぐ」
資格取得
 - 17 就職実績・サポート
- 特集2 在学生紹介**
- 19 「未来を灯し、紡ぐ人」
- 特集3 卒業生紹介**
- 22 「人生を灯し、紡ぐ先輩たち」

学部・学科・コース紹介

- 25 領域を超えてつながる福祉の「知」
- 27 社会福祉学部
- 28 学部長メッセージ
- 29 カリキュラム
- 31 一目でわかる、学科の違い
- 33 福祉計画学科
 - 35 福祉経営コース
 - 37 地域福祉コース
- 39 福祉援助学科
 - 41 保健福祉コース
 - 43 子ども・家庭福祉コース
 - 45 介護福祉コース
- 47 図書館
- 48 国際交流

CAMPUS LIFE

- 49 CAMPUS CALENDAR
- 51 CAMPUS MAP
- 53 ONE DAY REPORT
- 55 CIRCLE&VOLUNTEER
- 56 GUIDE MAP
- 57 学生生活支援
- 58 編入学
- 59 入試概要
- 61 学費・奨学金
- 62 OPEN CAMPUS / ACCESS

※取材学生の学年表記は2024年度です。

特集1 日本社会事業大学を知る

な灯し、紡ぐ人になろう

「福祉のリーダーを養成する」 国からの使命を託された 唯一の大学

1946年、GHQが戦後改革を進める中、日本国憲法25条（生存権）の基本理念を踏まえ、生活保護法などの新しい社会福祉制度が専門的訓練を受けた人材によって運営されることが求められ、厚生労働省（旧・厚生省）の委託を受け日本初の福祉専門校として開校したのが、本学の前身となる日本社会事業学校です。

「福祉のリーダーを養成する」
国からの使命を託された日本社会事業大学は、福祉系大学のモデルとして、日本の社会福祉教育の最先端をいく教育・研究拠点です。



我が国で最も歴史ある 福祉専門大学から未来へ

本学は、昭和21年(1946年)、日本で最初の福祉専門大学として誕生しました。戦後の混乱により困窮を極めていた国民生活の向上を期すためには、優れた福祉人材養成こそが急務であると設立されました。社会福祉事業が社会事業と言われていた頃の事です。

その後、少子高齢化が急速に進み、地域共生社会を支える福祉人材が益々求められています。幸い本学で学んだ卒業生達は、本学で育まれた友情を絆として、世代を超えた信頼関係を育み、様々な分野で活躍するとともに、本学に熱い思いを寄せてくださっています。

本学は、2026年に、80周年を迎えます。輝かしい伝統と素晴らしい環境に恵まれた本学で、志ある方々が、未来に向けて学んでくださることを期待しています。

プロフィール

修士(政治学)(埼玉大学政策科学研究科[現政策研究大学院大学])
東京大学法学部卒業 内閣府男女共同参画局長、内閣府情報公開・個人情報保護審査会
会長代理などを歴任 瑞宝中級章 受章



理事長 名取 はにわ

「灯し、紡ぐ」 福祉のリーダーを養成する大学として

日本社会事業大学の誇りは、日本で最も古い社会福祉の専門大学として、国から「指導的な社会福祉人材の養成」を委託された大学としての使命をもって、日本の社会福祉をリードした人材を多数養成してきたことにあります。

人口減少と少子超高齢化が進む中、社会的孤立や経済的格差が深刻化する日本社会では、多くの人が生きづらいつらいつら状況に置かれています。そうした状況にある人が「より良く生きる」ために、他者を思いやる心を持った指導的な社会福祉人材を養成するという日本社会事業大学の社会的使命は、今日ますます重要になっています。

こうした使命を果たすために、日本社会事業大学は、学部に加え大学院・通信教育科・附属子ども学園を設けて、総合的な社会福祉の大学として先進的な教育研究体制を整えています。

生きづらいつらいつら状況に置かれている人びとに温かい手を差し伸べたいと志す多くの皆さんが、本学で学び合い、これまでのご自分の殻を破り大きく成長し、幅広い世代の多数の先輩たちのネットワークの中で福祉のリーダーとなり、周りの人びとに幸せをもたらすような「灯し、紡ぐ人」になって欲しいと願っています。

清瀬キャンパスでお目にかかれまことを、教職員一同、楽しみにしています。

プロフィール

博士(経済学)(慶應義塾大学) 専門:財政学、経済政策、公共選択
慶應義塾大学経済学部卒業、慶應義塾大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学
城西大学経済学部教授、中央大学総合政策学部教授などを経て、2021年4月より本学学長
日本経済政策学会会長、日本財政学会代表理事、東京都税制調査会会長などを歴任



学長 横山 彰



日本社会事業大学の想い
建学の精神

博愛の精神に基づく社会貢献

— 忘我友愛 —

社会福祉の理論を窮め、
ソーシャルワーク実践を常に大切にすること

— 窮理窮行 —

異なる文化、異なる民族、
異なる国籍の人々と共に生きる社会の創出

— 平和共生 —

教育目標については
本学Webサイトをご確認ください。



3つのポリシー

ディプロマ・ポリシー

建学の精神を体現し、誰もが生きやすい社会を実現する優れたソーシャルワーカーとして以下の基本的な態度・知識・スキルを身につけ、本学の所定の単位を修得したものに学位を授与する。

- ①人文科学・社会科学・自然科学の諸科学について理解し、豊かな教養がある。
- ②ソーシャルワークに関する基本的な態度・知識・スキルを身につけ、卒業後ソーシャルワーカーとして実践をしていくために必要な力がある。
- ③すべての人にとって、尊厳が保持され自立した日常生活を営むことのできる社会の実現に貢献することへの強い動機と意欲があり、その達成に対する使命感を有し、地域コミュニティと社会構造に働きかけることができる。
- ④基本的人権を尊重する価値観を有し、社会正義に対して強い関心がある。
- ⑤多様化・複合化、複雑化している生活課題と社会問題に対して、論理的・科学的・批判的な思考に基づいて解決していく力がある。
- ⑥課題を包括的に理解するために、多角的な側面から状況分析する力がある。
- ⑦一人ひとりが直面している生活課題を理解し、直接的あるいは間接的な関わりを通して、その人自身が問題を主体的に解決することをサポートしていく力がある。
- ⑧自己と異なる価値観・世界観を理解し、受容するため、自己の価値観・世界観と向かい合い、異なる価値観・世界観を尊重することができる。
- ⑨一人ひとりのニーズやおかれている環境の違いを考慮しつつ、基本的な態度・知識・スキル、また社会保障などの各種制度における社会サービスを活用し、生活の質(QOL)の向上に向けた支援やウェルビーイングを高めることにつなげる力がある。
- ⑩卒業後、自らの特性を活かした専門職となり、生涯にわたって研鑽を積み、キャリアを形成していくとともに、絶えず自らの実践を振り返り、新たな実践を創造していく力がある。
- ⑪将来、他の専門職や地域コミュニティと連携・協働し、社会福祉領域において指導的な役割を担う社会的な責任感を有している。

カリキュラム・ポリシー

社会福祉学部では、以下のような方針に基づいてカリキュラムを編成し、学習成果の評価を行っている。

- ①社会福祉に関する態度・知識・スキルを体系的に学ぶため、講義、演習、実習の多様な形式の科目を設置し、社会福祉専門職としての態度・知識・スキルを育成するため、「ソーシャルワーク実習Ⅰ・Ⅱ」と「卒業研究」を必修とする。
- ②初年次教育の一環として「アカデミック・プランニング」を設置し、ポートフォリオ等を活用して学生の学修のデザインや記録を支援する。
- ③一般教育科目では、人文科学・社会科学・自然科学の基礎に関する科目を設置し、幅広い教養の修得を通して、人格の形成と豊かな教養を身につけることを目指す。
- ④社会福祉士国家試験受験資格取得に要する科目を必修とし、1年次から4年次にかけて体系的にソーシャルワーカーとしての基本的な態度・知識・スキルを修得できる科目配置とする。
- ⑤学習成果の評価の方法としては、授業科目の到達目標を授業計画書(シラバス)に示し、達成度に応じた評価を行うことにする。
- ⑥演習及び実習指導は少人数制とし、きめ細やかな指導によりソーシャルワーカーとしての実践力を養う。
- ⑦「ソーシャルワーク実習Ⅰ・Ⅱ」及び「卒業研究」では、ソーシャルワークについて記述・報告し、生活課題や社会課題と向き合いながら実践を展開する力を修得する。
- ⑧専門教育課程へのレディネスを測定し、教育効果を高めるため、3年次進級への判定を実施する。

以上の方針に基づき、学生の状況に応じた情報保障やコミュニケーション支援を行い、ICTも含めて誰もが支障なく教育を受けることができる環境整備に努める。また、国内外の文化や特性、性的指向やジェンダー・アイデンティティ、障がいの有無、社会経験等の学生の多様性にも広く門戸を開き、修学支援ネットワークを組織して、きめ細やかな学習支援を展開する。

福祉計画学科

将来、福祉経営や政策の専門家を養成する福祉経営コースと、地域福祉の計画・環境整備・実践に従事する専門家を養成する地域福祉コースを設置している。

- 福祉経営コースでは、①生活課題と社会問題を把握し、その解決を支援するために必要な法・経営・計画・政策について、実施上のシステムや手法等と、②福祉ニーズをもつ人々への必要なサービスに関する情報提供、利用援助、権利擁護等の学修に取り組む科目を配置する。
- 地域福祉コースでは、①福祉ニーズをもつ人の在宅生活の可能性を追求する地域と自治体の福祉計画、②個人や地域の福祉ニーズの把握、目標設定、ネットワーキングやケアマネジメント、サービス提供システムの開発、計画と実践に関する評価、③保健・医療・教育・司法・労働・建設などの分野との連携、④福祉教育や住民参加によるまちづくりの学修に取り組む科目を配置する。

福祉援助学科

各種の福祉分野における生活課題と社会問題の解決につながる直接的な支援と支援環境の整備についての態度・知識・スキルをもつ専門家を養成する。保健福祉コース、子ども・家庭福祉コース、介護福祉コースの3コースを設置している。

- 保健福祉コースでは、様々な生活課題、心身の健康や社会生活上のニーズを把握し、保健医療専門職や地域コミュニティと連携・協働して福祉ニーズへの支援に当たる専門的な態度・知識・スキルの学修に取り組む科目を配置する。
- 子ども・家庭福祉コースでは、子どもの発達や現代の家庭環境などを踏まえ、子どもと家庭を支援するための専門的な態度・知識・スキルの学修に取り組む科目を配置する。
- 介護福祉コースでは、要介護状態にある人々の生活課題と関連する社会問題を解決し、その人々が望んでいる生活を実現するために必要な直接的な支援、資源を活用し環境を整備するための専門的な態度・知識・スキルの学修に取り組む科目を配置する。

アドミッション・ポリシー

「アドミッション・ポリシー」の詳細は
本学Webサイトをご確認ください。



求める学生像

日本社会事業大学社会福祉学部では、自ら幅広く現代における生活課題と社会問題を探求し、向き合い、解決する力を養うことや、その努力を重ねることを惜しまない学生を求めている。選抜試験においては、建学の精神を含む教育目的とディプロマ及びカリキュラム・ポリシーに応じて、教科・科目を設定しており、以下のような学生の入学を期待している。

- ①勉学のために必要な学力を十分に備え、ソーシャルワークを主体的に学ぼうとする意欲がある。
- ②建学の精神を理解し、現代における生活課題と社会問題に向き合おうとする意欲がある。
- ③誰もが生きやすい社会を構築しようとする意欲がある。

入学前までに修得すべき能力

入学前に以下の力を身につけている人を高く評価する。

- ①高校までの学びから基礎的な教養と学力を有している。
- ②コミュニケーションにおいて他者を尊重し、コミュニケーション能力を高めようとする意欲がある。
- ③生活課題と社会問題に関心があり、課題解決に向けて取り組む意欲がある。

学びを紡ぐ

少人数教育と質の高い実習教育の両輪が学びを深化させる

少人数教育

自ら考え発信する力を養う

本学は1学年約200人前後と少人数です。単科大学で少人数だからこそ、福祉について語れる仲間ができることも大きな魅力の1つです。また、学生と教員との距離が近く、学びの面でのサポート体制も万全です。温かい信頼関係を築き、学生一人ひとりの個性を重んじた教育を行います。

身につく力

思考力

各学年に少人数制クラスの科目を配置し、演習形式の学修機会を設けています。意見を発信する機会が豊富なので、論理的に考えをまとめる能力が身につきます。

コミュニケーション力

フィールドワークや、ディスカッションなどの多彩な手法で学修を進めます。幅広い考え方や価値観に触れ、相互に意見を交わせる力を養います。

ソーシャルワーク実習教育

福祉の現場を知り進路を考えるきっかけになる

社会福祉士の国家試験受験資格を取得するためにソーシャルワーク実習は全学生必修

本学の特長は全学生がソーシャルワーカーになるために必須とされる資格「社会福祉士」の国家試験受験資格を卒業と同時に取得できること。そのためのカリキュラムが1年次から組み込まれ、2年次に60時間以上、3年次に180時間以上のソーシャルワーク実習を行います。現場での経験から学びを深め、将来の視野も広がります。

75年以上の歴史が育んだ信頼により300ヶ所以上の実習現場と連携

長い歴史をもつ本学は、福祉の現場で活躍する卒業生を多数輩出してきました。卒業生の活躍により、福祉現場では確かな信頼を得ており、多種多様な機関・施設と連携したソーシャルワーク実習を行っています。また、「子ども学園」といった大学附属の実習先があることも魅力の1つです。

機関

福祉事務所／社会福祉協議会 など

児童分野

児童相談所／児童家庭支援センター／児童養護施設／母子生活支援施設 など

女性分野

婦人相談所／婦人保護施設 など

障がい分野

生活介護事業所・就労継続支援B型事業所／障害者支援施設(入所) など

保護施設・更生保護分野

救護施設・更生施設／更生保護施設 など

高齢分野

特別養護老人ホーム／デイサービスセンター／地域包括支援センター など

その他

独立型社会福祉事務所 など

子ども学園

子ども学園は、発達に特性があり、その支援が必要な子どもたちへの発達支援とその保護者支援、そして家庭および地域の結びつきを支援する児童発達支援センターです。社会福祉士・保育士を目指す学生の実習施設として、多くの学生にソーシャルワーク実習の場を提供しています。

本学附属実習施設



段階に応じた手厚いサポート

実習に向けて、少人数クラスで実習指導や演習を行います。



実習指導では、個別教育も重視しています。今後の進路や学生の思いをヒアリングするために、担当教員と面談する機会を設けています。



実習中は学生が壁にぶつかることもありますが、教員が実習先を巡回してサポートします。実習先の指導者や職員には本学の卒業生も多く連携して学生を支援します。



実習後、クラスの仲間と協力してグループ発表を行うことも本学の特長です。各自の実習経験を共有しながら、ソーシャルワークの理論と実践の統合的理解を目指します。

生涯学習

生涯にわたってスキルを磨き続けることができる、
日本社会事業大学の「リカレント教育システム」

リーダーとして必要なスキルアップを可能にする「リカレント教育システム」

現場で経験を積む中で気づいた問題点を、研究テーマとして追究し、学んだ知識を現場で活用する。この学びのサイクルによって福祉の未来が拓かれます。日本社会事業大学では、福祉のリーダーとして生涯にわたるスキルアップしていけるよう、さまざまな学びの場を提供しています。

日本社会事業大学

卒業

進学希望

福祉の現場で勤務

学びを
実践に
活かす

実践を
学びに
活かす



研究大学院

実践研究で
福祉現場をより良いものに
変えたい人に

課題を捉え、さまざまな視点から検証し、新たな提案を可能にする力を身につけ、より良い社会福祉実践を実現するために、研究的な視点をもつ実践者、および実践的な研究者を育成しています。

専門職大学院

専門職として
さらにレベルアップ
したい人に

現場の福祉従事者を指導・監督できる責任者および福祉サービスを理解して、質の高い経営ができるマネジャー(管理職)・経営者など、福祉の現場に変革をもたらすことができる人材を育成しています。

通信教育科

社会福祉士に加え、
精神保健福祉士の資格を
取得したい人に

本学の教授陣等の専門性の高い教育プログラムの実施により、全国平均を大幅に上回る国家試験合格率を実現しています。また、スクーリングは土日祝日に基本設定し、できるだけ休暇を取らずに受講できるような日程を組んでいます。

さまざまな学びの場に参加できます！

社会事業研究所 社大福祉フォーラム

大学と社会事業研究所の共催で「社大福祉フォーラム」を開催。教員研究報告、基調講演、自主企画、分科会が企画され、学生も多数参加しています。また、同窓会と連携し、地方在住の会員を中心にセミナーなどを開催しています。

専門職大学院 リカレント講座

専門職大学院が、今まで培ってきた教育・研究のノウハウを活かし、社会福祉従事者の実践力を高めることを目的とした講座です。現場実践者のニーズに応え、現場実践に役に立つような講座を準備しています。

学長室 社会福祉研修センター

厚生労働省からの委託を受けて「地域共生社会の実現に向けた分野横断的な社会福祉研修事業」を実施しています。本学の多彩な講師陣と、各分野の第一線で活躍されているゲストスピーカーを招聘する充実の研修内容です。

福祉実践力・スキルアップ

同窓会ネットワーク

約75年間で

17,000人を超える

同窓会ネットワーク

本学は創設以来、「指導的社会福祉従事者(福祉リーダー)の養成」を目的に、日本の社会福祉教育をリードし、さまざまな福祉の現場に優れた人材を輩出してきました。現在も、福祉教育を求める幅広い層に学びの場を提供しています。これから社会に出ていく学生たちや全国各地の福祉現場で活躍する卒業生たちの強い絆で結ばれた同窓会ネットワークは広がり続けています。

全国47支部

+ 海外韓国支部



活動内容

社会福祉セミナーの開催
全国各地で社会福祉に関するセミナーを実施しています。第一線で活躍する専門家を迎え、さまざまなテーマを深掘りします。

会報「社大同窓会」(年2回)の発行と会員への送付

五味基金による修学困難学生への奨学金への協力
※同窓会設立者 五味百合子氏による基金

全卒業生へ卒業証書ホルダーを贈呈

1. 地元での就職をバックアップ!

多くの先輩たちが同窓会ネットワークをU・ターン就職に役立てています。地元での就職活動に向けて、同窓生による個別相談や経済的支援を行っています。

2. 在学中から同窓生とつながる!

「福祉現場で活躍する卒業生との交流会」など、在学中からもイベントなどで接点があります。在学中から同窓生とつながることができます。

3. 卒業後もあなたを支える!

同窓会ネットワークは各地で活躍する人材が豊富です。卒業後もあなたを支える力となります。

日本社会事業大学同窓会

卒業生の方々と充実した同窓会ネットワークを築いています。本学同窓会は、戦前の中央社会事業協会研究生を出発点として、日本社会事業学校研究科・専修科、専門学校、短期大学、学部の卒業生、大学院の修了生、通信教育科の修了生で組織されており、同窓会や大学の歩み、会員の活動などの情報発信や学生支援などに取り組んでいます。



日本社会事業大学
同窓会ホームページ

解を 灯す

課題解決に挑む先駆者による
未来志向の教育と
領域を超える先進的研究

日本の社会福祉をリードした人材を多数養成してきた本学は、
社会福祉領域において最先端の研究が行われる拠点です。
そして、研究で積み重ねられた知見は、
学生への教育内容を豊かにします。



村田 文世

社会福祉学部 福祉計画学科 教授

〔研究テーマ〕
福祉政策論（サービス供給論）、
地方自治体における新公共マネジメント
（事業委託、指定管理者制度等の公私パートナーシップ）

変遷する民間組織の軌跡をたどり、 未来につながる「新しい福祉の形」を見つけていく

市民ボランティア団体やNPO法人、社会福祉法人などの民間非営利組織は、現代の福祉を支える貴重な存在です。従来、社会福祉は「政府が一元的に担うもの」でしたが、1980年ごろから「民間ができることは民間で」という流れになり、2000年以降はさまざまな民間組織が福祉サービスを担うようになってきました。私は、この民間非営利組織に焦点をあてて研究を進めてきました。非営利組織、なかでも当事者団体などは「運動なきところに政策なし」という言葉があるほど、社会問題の草の根から解決を図る社会運動団体として活動することで行政サービスを勝ち取ってきた歴史があります。そこに委託などで行政から資金が入ると、組織運営はどのように変化するのか。経営学の理論を用いて組織や組織活動を分析し、福祉政策やサービスについて研究しています。

注目しているのは、ヨーロッパで「社会的企業」と呼ばれる、経営的な観点で福祉領域に取り組む「新しい福祉の形」です。従来の福祉事業のイメージから脱却し、企業活動として営利に結びつけることを目指しています。例えばブドウ栽培からワインの製造、レストランの運営などの6次産業の事業で、価値の高い製品づくりに障がい者の方が携わります。今より好待遇になることで、地域にも還元でき、その地に暮らす人々も潤います。社会福祉は一般の人々とかけ離れた部分があり、それが偏見や差別につながることも多いです。従来型の自己完結の福祉から地域循環に貢献する福祉へと転換することは、地域共生社会を推進する観点から重要になります。地域のさまざまな問題を社会福祉でどのように活性化し、解決していくか。利用者にも、施設にも、地域にも、「三方よし」の社会福祉を目指して、研究で貢献していきたいですね。学生にも、営利との親和性を持つ従来の福祉の概念を超えた新しい福祉のあり方を伝えたい。地域における先進的な福祉実践のダイナミズムを、感じて欲しいと思っています。

虐待を受ける子どもを減らすために 育てる人や支援する人に光を当てる

私が研究を志したのは、大学院を出て臨床心理士として働いた児童養護施設での経験がきっかけです。昔は経済的理由から親が育てることができずに施設に預けられるケースが一般的でしたが、私が働き出した頃から家庭内での虐待が原因で施設に避難する子どもたちが増えてきたのです。子ども時代に心身に虐待を受けるとトラウマになることがあり、大人になっても精神的に苦しむ人がいます。そうならないよう子どものうちに問題を解決しケアすることが大切ですが、一人ひとりの事情も違いなかなか簡単にはいきません。子どもたちへの対応に奔走するなかで、「児童虐待が起こらないようにすることが大切だ」と考えるようになりました。そこで注目したのが子どもを育てる立場にある養育者への支援です。

児童虐待の未然防止や再発防止、養育者支援をテーマに幅広く取り組んでいます。「不適切な養育を行う養育者を支援する具体的な方法の開発」を目指した養育者の懲戒行動や養育行動の研究では、しつけや体罰、懲戒という言葉がどのように用いられてきたのか、インタビュー調査を実施し、子育ての現状について理解を深めようとしています。そして、体罰に代わる効果的な養育法を開発したいと考えています。また、福祉の現場で支援する人々のところにスポットを当て、施設職員が心身に受けるダメージを少なくしながら虐待された子どもたちの援助を続ける方法について研究しています。その他にも、学生と一緒に実施した児童虐待防止の「オレンジリボン運動」を、介入プログラムとして捉え直し、評価研究を行っています。

実践者とディスカッションするなかで困難を解決できる、誰かの役に立つ研究だからこそそのやりがいを感じています。一方で、社会に求められる使命感だけでなく、科学的アプローチや分析による究明の過程も研究の醍醐味です。「学問としての社会福祉学」の面白さを、ぜひ本学で感じてほしいと思います。



宇野 耕司

社会福祉学部 福祉援助学科 准教授

[研究テーマ]
子ども虐待、養育者支援プログラム、
支援者支援(児童福祉施設職員等)他



新藤 健太

社会福祉学部 福祉援助学科 講師

[研究テーマ]
知的障がい者の地域移行・
地域定着支援における効果モデルの構築、
生活困窮者自立相談支援事業の
効果的な就労支援モデル構築、
その他プログラム評価を活用した
社会福祉プログラムの開発

質を確かめ、改善点を見つける プログラム評価で社会課題に解決の道筋を

現代社会、特に福祉の領域には複雑で多様な社会課題が山積しています。私が研究として取り組んでいるテーマの一つが、「知的障がい者の地域移行・地域定着支援」。生まれ育った地域から離れ、入所施設で生活をされている障がいのある方に、なじみ深い場所に移ってもらい、地域社会に溶け込んで自立した生活を送れるように支援することです。実践するには、状況をクリアにし、より良い手段や方法を考える必要があります。効果的な社会プログラムを生み出すために、私が取り組んでいるのが「プログラム評価の理論と方法論」です。

プログラムとは、目的を達成するための活動における制度、組織体制といった取り組み全体を指します。そのプログラムの有効性について、調査などをもとに質を判断し改善点などを洗い出すことが「プログラム評価」です。重要とされるのは、①ニーズ、②セオリー、③プロセス、④アウトカム・インパクト、⑤効率性の5つの評価階層です。例えば知的障がい者の地域移行・地域定着支援であれば、まず入所されている方々は地域移行をしたいと思っているか、というニーズの評価から始まります。次に効果的に進めるために求められるプログラムの設計に関するセオリー評価、その後正しく実施されたかについて測るプロセス評価を行い、意図した成果の達成度をみるアウトカム・インパクト評価を実施。最後に、かけたコストが得られた成果に見合っているかという効率性を評価します。あらゆる分野で用いられているこの手法を駆使し、生活困窮者を対象にした就労支援などのテーマに着手しています。

社会変革や社会開発とは、「有効な仕組み」がない社会課題に対して有効な手法を編み出し、社会に浸透させることで根本の解決を成し遂げることです。この「有効な仕組み」づくりこそ、ソーシャルワークの真髄と言えるでしょう。その一助となるのがプログラム評価の理論や方法論だと考えています。私自身、研究を深めるだけでなく、学びの仲間を増やし、社会のためにプログラム評価の担い手を増やしたいと思っています。みなさんにも、ソーシャルワーカーの一人として、プログラム評価の学びを身に付けてほしいです。

未来を紡ぐ

充実した国家試験対策と 一人ひとりに合った就職支援で 社会福祉の第一線で活躍

全学生が卒業と同時に社会福祉士の国家試験受験資格を取得できます。
さらに専門分野を究めるプラスワンの資格取得を目指せます。

資格取得 国内トップレベルの合格率

第36回 社会福祉士国家試験

受験生が
150人以上の
大学で1位!

現 役
合格 率 **82.9%**
※全国平均58.1%

第26回 精神保健福祉士国家試験

現 役
合格 率 **92.9%**
※全国平均70.4%

第36回 介護福祉士国家試験

現 役
合格 率 **100%**
※全国平均82.8%

講座や模擬試験を活用し、効率よく学習。

福祉援助学科
介護福祉コース 卒業
高橋 宏希さん
長野県立豊科高等学校 出身



介護の現場で働く両親が利用者の方と接する様子や感謝の言葉を伝えられる姿を見て、介護職を目指しました。国家試験対策講座の集中講座では、試験科目の出題範囲を一通り講義形式で解説してもらえるので、講義後に復習してから過去問に取り組み、知識の定着を図っていました。模擬試験は、自己採点后に間違えた問題の解説を熟読。間違えた理由を精査し、正しく理解できているか教科書に立ち戻って確認しました。さらに自分の苦手な分野を把握し、割く勉強時間を増やすなど重点的に取り組みました。講座や模擬試験を通して効率よく計画的に学習できたと思います。

国家試験対策プログラム

ガイダンス

全学生が卒業と同時に社会福祉士の国家試験受験資格を取得でき、国家試験の合格のために教職員が一丸となってサポートします。ガイダンスでは、試験科目や出題方法などの試験内容を把握するとともに、合格者から効果的な勉強方法などの体験談を聞くこともできます。

対策講座

対策講座は週1講座と集中講座をラインナップしています。優れた実績・経験をもつ講師による講義で、学習のポイントや出題傾向をおさえ、練習問題を学習しながら試験の具体的なイメージを捉えます。

模擬試験

模擬試験では、試験の雰囲気になれるとともに、自分の弱点を知り、早めに対策を立て、勉強方法や学習計画の見直しができます。対象は4年次生ですが、3年次生以下でも参加できます。

取得可能な資格一覧

□ 全員が取得する □ 福祉計画学科・福祉援助学科 両学科で取得可能 □ 福祉援助学科のみ取得可能

社会福祉士国家試験受験資格

卒 編

身体や精神上の障がいあるいは環境上の理由などにより、日常生活を営むことに支障がある人や社会生活上の困難を抱えている人に対し、福祉に関する相談や援助を行う専門職のための資格で、一度取得すれば生涯有効です。最近ではソーシャルワーカーの採用の必須条件にされることも多くなっています。
※在学中に国家試験に合格できなくても、福祉関連への就職は可能です。また、受験資格に有効期限はないため、卒業後も国家試験に再チャレンジすることが可能です。

卒業時に取得する資格

各コースの卒業要件を満たすことにより、卒業時に取得できます。

資格課程登録によって取得する資格

資格によって必要な単位が異なります。

3年次編入生が取得できる資格

編入生には特に3・4年次の2年間で社会福祉士国家試験の受験資格が取得できるようにカリキュラムを編成し、特別な履修体制で個別に指導しています。

精神保健福祉士国家試験受験資格

課

〈定員20名/両学科より、3年次に課程登録〉
精神障がいのある方の社会復帰のソーシャルワークを行うための資格です。退院後の住居や就労についての助言をはじめ、金銭の自己管理など、日常生活に必要な訓練、家庭や職場との連絡調整などを行います。

身体障害者福祉司(任用資格)^{※5}

卒 編

福祉事務所や福祉課で身体に障がいのある方の福祉に関わる相談や調査などを行います。各都道府県では、身体障害者更生相談所に身体障害者福祉司を置くことが定められており、各行政機関の福祉関連部署に配属されて初めて効力が生じます。

高等学校教諭一種免許状(福祉)

課

〈定員50名/両学科より、2年次に課程登録〉
福祉の教育にあたる高校教員のための免許です。普通および総合高校の選択授業、専門高校福祉科での授業を担当します。^{※1}

児童指導員(任用資格)^{※5}

卒 編

児童養護施設や障がい児施設に配置されている児童指導員として採用される際に要件となる資格です。他施設などで直接子どもと接して日常生活や学習のサポートをします。

特別支援学校教諭一種免許状(聴覚障害者)

課 編

〈定員20名/両学科より、3年次に課程登録〉
特別支援学校の教員資格です。肢体・知的・聴覚・視覚・病弱のいずれかを専攻分野とすることが必要で、本学では日本初の日本手話を中心に据えた「特別支援(聴覚)」の免許を取得できます。^{※2 ※3 ※4}

社会福祉主事(任用資格)^{※5}

卒 編

援助や保護を必要としている人に対し、法律上の制度が利用できるよう、手続きや相談業務を行います。都道府県や市区町村の福祉事務所業務に就く際に要件となる任用資格です。

認定スクールソーシャルワーク

課 編

(教育課程指定科目)
〈定員20名/両学科より、4年次に課程登録〉
子どもの課題や、貧困など家庭の課題について支援するスクールソーシャルワーカーを養成する課程です。ヤングケアラー支援などでも近年注目の職種です。

知的障害者福祉司(任用資格)^{※5}

卒 編

福祉事務所において、知的障がいのある方が抱える生活上や就労上の困難など、福祉に関する相談に応じる仕事です。専門的技術に基づき、日常生活の指導なども行います。

介護福祉士国家試験受験資格

課

定員〈25名/1年次に課程登録〉
身体または精神の障がいにより日常生活に支障がある人に、心身の状況に応じた介護を行い、その人および介護者に介護に関する指導を行います。

保育士

課

定員〈50名/1年次に課程登録〉
子どもの保育とその指導・援助を行うための国家資格です。保育所だけでなく、乳児院、児童養護施設、各種の障がい児施設などでも求められることが多い資格です。

児童ソーシャルワーク課程(修了認定)

課

定員〈50名/2年次に課程登録〉
不登校、家庭内暴力、非行など、問題を抱える子どもとその家族を専門的に援助できる子ども・家庭ソーシャルワーカーを育成する本学独自の課程です。^{※6}

※1 福祉援助学科の学生は、福祉計画学科で認定を受けている高等学校教諭一種免許状(福祉)を基礎資格として登録・履修することにより、特別支援学校教諭一種免許状(聴覚障害者)を取得することができます。
※2 学士の学位を有すること、および小学校、中学校、高等学校または幼稚園の教諭の普通免許状(一種・二種いずれも可)を有することが条件となっています。そのため本学では高等学校教諭一種免許状と重複して履修します。なお、編入生ですでに教員免許を取得済みの方は単独での登録が可能です。
※3 短大などで小学校・中学校・高等学校または幼稚園教諭免許状などの基礎免許を取得していれば、特別支援学校教諭一種免許状も取得することができます。

※4 福祉計画学科の学生は、高等学校教諭一種免許状(福祉)を基礎資格として登録・履修することにより、福祉援助学科で認定を受けている特別支援学校教諭一種免許状(聴覚障害者)を取得することができます。
※5 「任用資格」とは、その資格を保持しているだけでは資格として活かされず、公務員などで採用され、その資格を必要とする業務に就いた時に活かされる資格です。
※6 児童ソーシャルワーク課程は、本学独自の課程で、本学の児童ソーシャルワーク課程修了の認定を受けることができます。

重複登録可能な免許・資格課程

	介護士	PSW	保育士	福祉教諭	特教諭	CSW	SSW
介護福祉士国家試験受験資格	-	-	-	-	-	-	-
精神保健福祉士国家試験受験資格(PSW)	-	-	-	-	-	-	-
保育士	-	-	-	-	-	● ^{※1}	-
高等学校教諭一種免許状(福祉)	-	-	-	●	-	-	●
特別支援学校教諭一種免許状(聴覚障害者)	-	-	-	●	-	-	●
児童ソーシャルワーク課程(修了認定)(CSW)	-	-	● ^{※2}	-	-	-	● ^{※2}
認定スクールソーシャルワーク(教育課程指定科目)(SSW)	-	-	-	●	●	●	-

※1 「保育士課程」登録者は「児童ソーシャルワーク課程」を重複登録できる。
※2 「児童ソーシャルワーク課程」登録者は、「保育士」と「認定スクールソーシャルワーク(教育課程指定科目)」のいずれかのみ重複登録できる。

特集2 在学生紹介

未来を灯し、紡ぐ人

社会福祉士と保育士の資格を取得し 将来の選択肢を広げたい。

INTERVIEW

社会的養護を必要とする子どもの現状を知り、
児童福祉に対する思いが一層深く、強いものに。

高校2年生の時に、祖父の入院先で医療ソーシャルワーカーの方が親身に対応してくださったことがきっかけで、福祉の世界に興味を持ちました。調べてみると児童福祉という分野があることを知り、もともと小さな子どもと遊ぶのが好きな自分に合っていると考えたのです。本学は福祉を集中的に学べる単科大学であり、社会福祉士に加えて保育士の資格を取得できることが魅力的でした。両方の資格を持つことで、将来の選択肢が広がるからです。

印象に残っている授業は「社会的養護(※)」です。社会的養護を必要とする多くの子どもたちの現状を知ることで、児童福祉に対する思いが一層深く、強いものになりました。「初級日本手話」では、当事者である、ろう者の先生から手話で手話を学びます。発話は禁止で、手話のみで授業が進むという本学ならではの科目でした。多くの授業でグループワークによる事例検討を行うのですが、支援に関するさまざまなテーマについてクラスメートと議論を交わすことで、多角的な視点や考え方が身につきました。

実習は試行錯誤の連続。授業で学んだ理論を
現場で実践する難しさと大切さを実感した。

実習では、一人ひとり個性の異なる利用者と実際に関わる中で、授業では得られない新しい学びを発見できます。私は「保育実習」で乳児院に、「ソーシャルワーク実習」では障害児入所施設に行きました。「イヤイヤ期」の子どもに拒否されたり、言葉でのコミュニケーションが難しい障がい児との接し方に戸惑ったりと試行錯誤の連続でしたが、講義で学んだ「個性(その人らしさ)」を大切にすることの重要性と実践の難しさを実感しました。将来は、子どもだけでなく、その家族や環境にも広く目を向け支援のできるソーシャルワーカーになりたいです。

※社会的養護…保護者のない児童や、保護者の監護が適当でない児童を、公的責任で社会的に養育し保護するとともに、養育に大きな困難を抱える家庭への支援を行うこと

金澤 里英さん

社会福祉学部 福祉援助学科 4年
子ども・家庭福祉コース

【出身高校】
新潟県立津南中等教育学校

【取得見込みの資格】
保育士・社会福祉士



オレンジリボン運動を広げる活動を通して児童虐待防止啓発運動を行うサークルに所属しています。オレンジリボン運動発祥の地である「カンガルー OYAMA」に訪問し、メンバーの方からお話を聞いたり、オープンキャンパスで高校生に向けてサークル紹介を行いました。

What's in my bag



1.色味が気に入っている筆箱
2.文庫サイズの書籍。通学時間や空き時間に読んで見識を深めています
3.メモはノートで取る派
4.手帳。スマートフォンより使い勝手がよいです
5.授業の資料もクリアファイルでひとまとめに
6.図書館でPCを借りて作業することが多いため、USBメモリは必須

INTERVIEW

法律や環境を整え、 福祉の仕事をもっと魅力的に。

目指す世界が同じ仲間との一体感。
福祉と法律の関連を学び、将来を見据える。

私は高校の福祉科で主に高齢者介護について学びました。実習等で福祉の現場も経験しましたが、人手不足に悩まされる業界の現状を知り、福祉の仕事に関わるすべての人々がやりがいを感じて働くためには何が必要なのか、どうすればもっと魅力的な職場になるのかを考えるようになりました。そこで福祉の法律・制度や現場の設備・環境を整える仕事を目指そうと、本学に進学。福祉計画学科で社会福祉士の資格取得に向けて勉強に励んでいます。ほとんどの学生が同じ福祉に関する目標を持っているので、仲間同士で刺激し合い、協力できることが本学の大きな魅力です。

特に力を入れて学んでいるのは「法学(権利擁護を支える法制度)」です。法律は社会福祉サービスの運営や提供をする根拠となり、それによってソーシャルワーカーは公正で平等なサービスを行うことができます。また、個々の福祉ニーズに対応するためにもやはり法律の知識は欠かせません。このように福祉と法律は密接に関連しています。担当教員の梶原洋生先生の授業も面白く、おすすめの科目です。

先生方や友人に恵まれ、刺激を受ける日々。
多くの「経験」を積み、知見を広げたい。

大学の学びを通して、社会や民族の背景、性別、性的指向といった個々の違いを認め合い、尊重し合うこと=多様性について深く考えるようになったと感じます。また、行動力もアップしました。本学には実践経験の豊富な先生方が大勢いて、数多くのボランティア活動に参加している友人もいます。彼等からさまざまな体験談を聞くうちに自分も奮起し、積極的にボランティアなどの活動をするようになりました。

「経験」は勉強と同等か、それ以上に大切だと私は思います。これからも福祉関連の有無にかかわらず、多くの活動に参加して経験値を増やしたいです。



関根 悠跳さん

社会福祉学部 福祉計画学科 2年

【出身高校】
静岡県立磐田北高等学校

【取得見込みの資格】
社会福祉士



オープンキャンパスでは高校生の相談に乗って大学の魅力や学びの内容についてお話しすることも。

What's in my bag



1.お気に入りのクリアファイル。授業の資料や課題を整理して収納できます
2.コンパクトにまとまった筆箱

経験者だからこそその支援が自分にはできると信じている。

中学時代の不登校を周囲の支援で克服。今度は自分が悩みを持つ人の力になると決意した。

私は中学校の3年間、不登校でした。その間に多くの方々に寄り添っていただき、助けてもらったおかげで通信制高校に進学することができ、現在は元気に活動しています。今度は自分が助ける側の立場となって悩んでいる人の力になると決意し、社会福祉士と認定スクールソーシャルワークの資格を同時に取得できる本学に進学しました。

自分が目指している分野だからこそ、2年次の時に受講した「スクールソーシャルワーク」の授業は印象的でした。特に「不登校」に焦点を当ててその歴史や背景、現行制度と課題などについて学ぶことで、自身の過去を客観的に捉え直し、体験に関する新しい気づきをもたらしてくれました。

実習を通して知ったことは、言葉だけがコミュニケーションの手段ではないこと。相手との関わりを重ねる中で、普段の様子とは異なる表情や仕草の些細な変化といった非言語的な情報から相手を理解することも可能なのだと気づき、視野が大きく広がりました。相手をよく観察する力が身についたと感じます。また、3年間続けている子ども食堂のボランティアや学生自治会の会長職を経験し、主体性も鍛えられました。どう動くべきかという意識を常に持つことは、学業への取り組みにもつながっています。

想像以上に自分自身を消耗させる仕事だから「自分に余裕を持つ」ことを心がける。

ソーシャルワーカーという他人の人生に介入する仕事を目指す以上は、自分に余裕を持つ必要があると考えています。3年間の学びを通し、この仕事は想像以上に自分自身を消耗すると感じたからです。普段は相手のことを一番に据える仕事だからこそ、疲れて気持ちに余裕がなくなっていると感じた時は、自分のことを一番に考える。そんな心構えが必要だと思います。

不登校支援に専門的に携わりたいという将来の目標は変わりませんが、スクールソーシャルワーカーとして学校内からアプローチする以外に、現在は地域における「第三の居場所」作りにも興味湧いている段階です。いずれにしても、一人ひとりの個性をしっかりと理解し、ウェルビーイングを最大限高められる支援を行ってきたいです。ウェルビーイング(well-being):心身と社会的な健康を意味することばです。身体だけでなく、精神的、社会的にも満たされている広い意味の幸福・多面的な幸せを表します。



学生の意見や要望などを大学に伝えられる場である学生自治会に所属。ミーティングでは運営方針についてじっくり話し合います。

What's in my bag



1.レポートの執筆や調べ物などに重宝するノートパソコン。学生生活の大切な相棒です 2.筆箱の中には色とりどりのペンが。使い分けながら授業の内容を整理します 3.3種類のコネクタに対応した充電器。出かける際の必需品です 4.授業のメモはルーズリーフに書き取ります

INTERVIEW

一条 海斗さん

社会福祉学部 福祉援助学科 4年
子ども・家庭福祉コース

[出身高校]
福島県私立尚志高等学校

[取得見込みの資格]
社会福祉士・児童ソーシャルワーク課程・
認定スクールソーシャルワーク

人生を灯し、紡ぐ先輩たち

INTERVIEW

見た目にはわからないさまざまな困難を抱えた人に寄り添う。

生活の困窮する方への相談支援と居住支援を担当。分野を横断する知識が求められるため、日々勉強です。

ほっとポットには在学中のソーシャルワーク実習でお世話になりました。ここは失業や障がい、離婚などさまざまなきっかけで生活が困窮している人々に対し、無料で相談支援を行う社会福祉士事務所です。高齢・障がい・低所得

といった社会福祉の分野にとらわれない自由な活動内容と、スタッフのソーシャルワーカーとしての真摯な熱意に感銘を受け、自分もこのNPOの一員になりたいと考えました。

私は生活の困窮する方への相談支援のほか、住居を喪失した方への居住支援を主に担当しています。一時的な居住の場を提供し、生活保護、介護保険、障がい者福祉、医療など個々に応じた制度やサービスに繋げながら、生活の助言やアパート探しの手伝い、関係機関との連絡調整等、安定した住まいに暮らせるまでの生活サポートを行っています。そのための社会保障制度や社会情勢に関する勉強は今も欠かせません。

困っている人に手を差し伸べ、一緒に笑い、喜び合う。とても人間らしい仕事をしていると感じます。

住まいを失うきっかけの一つに「見た目にはわかりにくい障がい」があります。本人も気づいていないことが多く、人間関係をうまく築けなくて退職してしまう、お金を計画的に使えなくて家賃を滞納してしまう…。中高生の時にボランティアで障がい者と触れ合う機会があり、障がいの有無で生き方が大きく左右される社会に疑問を抱いたことが、現在の仕事につながっています。困っている人がいれば手を差し伸べる、その人が幸せになれば一緒に喜ぶ。とても人間らしい仕事をしているというやりがいモチベーションです。

この仕事をするようになって、関係機関に本学のOB・OGがたくさんいることに気づきました。先輩ケアマネージャーに手厚い支援を受けたり、同級生のケースワーカーと情報交換したりと、非常に助けになっています。歴史ある福祉大学としての強いつながりを感じます。

本田 優斗さん

独立型社会福祉士事務所
特定非営利活動法人ほっとポット
副代表

2021年 社会福祉学部 福祉計画学科
地域福祉コース 卒業

[取得している資格]
社会福祉士・精神保健福祉士・社会福祉士



生活が立ち行かなくなった方のために、相談を受け関係機関と連絡を取っています。

INTERVIEW

身の回りのことから、ご近所付き合いまで。
一緒に過ごしなが
社会で独り立ちできるように支援する。

葛飾区にある児童養護施設「社会福祉法人共生会希望の家」で13年にわたり、虐待などの複雑な背景を理由に家庭で過ごすことが出来ない子どもたちの日常生活の支援を行っています。食事作りや洗濯などの身の回りの家事のサポートから、子どもたちが通う学校のPTA活動への参加や友人家族とお付き合い等の地域での活動、児童相談所等の関係機関との連携や卒園した子どものアフターケアとして行政手続きなどを一緒に進めながら指導することもあります。日々、子どもと一緒に過

し、職員同士で連携を取りながら子どものケアを行っています。

職務にあたる時に思い出す大学時代にお世話になった先生の言葉があります。「実践と理論をリンクさせることが大切。支援内容を決定する際に、子どもたちに理由を伝えることが大切であること」。当時は、その言葉の真意を自分自身に落とし込めず、現場に出て初めて理解できました。支援をする際に、「難しい」と感じることは多々ありますが、支援する理由やその判断基準、根拠は何か、明確にすることが欠かせません。そこで重要なのが大学で学ぶ理論であり、相手に伝えるためのスキルです。実践だけでなく理論の重要性を働いてから改めて痛感しました。

現場に還元するために大学院で学び直し。
「つながり」を大切にしながら、仕事に向き合う。

現在は、非常勤で職務にあたっています。働き方を変えたのは、10年働いた経験を現場に還元するために、学び直しを決意したから。2022年から日本社会事業大学大学院で修士課程に進み、児童養護施設で働くケアワーカーに対して、グループインタビューを行い生活支援についての改善点を模索することや、養育の質について実践者の語りを分析しました。大学院の授業では、最先端のアプローチや研究成果など、新鮮な学びの機会を得ました。

実際に現場でも、学校で立場や職種が異なっても、出会う卒業生や同窓生は高い熱量を持って仕事に向き合っている人も多く、刺激を受けます。大学という将来を決める重要な時期に「福祉に携わりたい」と明確な意思を持って入学した仲間たちと学べたことは、人生において大きな強みになったと感じています。福祉は、人とのつながりがなくては成り立ちません。これからも、出会いを大切にしながら、仕事と学問に向き合っていきたいです。

大岡 崇さん

社会福祉法人共生会 希望の家
地域小規模グループホーム
保育士・児童指導員
2011年 社会福祉学部 福祉援助学科
子ども・家庭福祉コース 卒業
2024年 大学院社会福祉学研究所 修了
[取得している資格]
社会福祉士・保育士・児童指導員



グループホームでは、地域との交流も盛んです。下町にある希望の家では、町内会の活動にも参加してお神輿を子どもと一緒に担ぎます。

INTERVIEW

「相手の気持ち」と向き合うために。
先回りや予測をしない
相談援助を心がける。

誰もが自立した生活を送れるように支援する。
自宅に訪問して必要な支援を考える。

私は立川市社会福祉協議会で、日常生活自立支援事業における専門員・生活支援員として勤務しています。具体的な業務内容は、認知症を患っている方や知的障がい・精神障がいをもつ方などが自立した生活を送れるように支援することです。自宅に訪問して部屋の様子を見たり、お話を聞いたりして適切な福祉サービスを受けられているか確認し、必要な場合にはケアマネジャーさんなどと連携して支援内容を相談します。また日常的な金銭管理も業務の1つで、1週間の生活費について利用者の方々と話し合いながら、必要な金額を金融機関から引き出すこともあります。

仕事をする上で気をつけていることは、利用者の方の気持ちに寄り添うことです。さまざまな人と向き合う中で、相手の気持ちを先回りして予測しないよう意識し、支援にあたっています。上手く気持ちを聞き出せず、力不足を感じることもあります。利用者の方と向き合い、相手の気持ちに寄り添えるよう努力していきたいです。

大学時代の学びと経験が、今の私に自信をくれる。

働いている中で特に活きていると感じる大学での学びは、法学の講義。現在、「成年後見制度」という仕組みの相談や利用支援を担当しています。「成年後見制度」とは判断能力の低下により、財産管理や施設入所の契約などが難しい方々を支援する仕組みです。福祉や法律に関する専門用語が業務の中で頻繁に使われるため、高い水準の知識が求められているのですが、大学時代の学びのおかげで理解が追いついています。また社会福祉士の実習で実際に自分が働くイメージを確立できていたことも仕事に順応する上でとても役立ちました。大学で得た知見は私のソーシャルワーカーとしての土台であり、社会人として必要な武器となっています。

少しでも福祉の仕事に興味をもつ人が増えてほしいので、これからも私自身がやりがいを感じて仕事をしたいです。

本田 優乃さん

立川市社会福祉協議会
総合相談支援課地域あんしんセンター係
日常生活自立支援事業相談員・専門員
2023年 社会福祉学部 福祉計画学科
地域福祉コース 卒業
[取得している資格]
社会福祉士・社会福祉主事



さまざまな関係機関と連携したり、制度について相談を受けたりと連絡は大切な業務の1つです。

社会福祉学部

灯し、紡ぐ人になろう。

学部のねらい

—— 灯し、紡ぐ人になるために

社会の状況に合わせて、人間の行動や心、地域社会などについての関連学問を総合的に学び、研究し、高いモラルと豊かな思考力・感性を育みます。社会福祉分野の実践に必要な基本的な心構えと知識・スキルを卒業までに身につけるため、少人数教育により豊かな人間性と深い教養を学びます。高度に多様化・複雑化し、専門化する社会福祉の全体像をつかむことのできる教育方法により、全員が計画的に社会福祉士国家試験受験資格を取得できるカリキュラムを基本としています。

また、進路選択に応じて、必要な他の資格取得にも柔軟に対応できるようにカリキュラムが組まれています。講義・演習に加えて、学校の内外での実習体験を重ね、周囲の多くの人々と協力し合いながら、積極的に学びを深め、社会の抱えるさまざまな課題を解決できる幅広い能力を養うことを目指しています。

福祉計画学科

- 福祉経営コース
- 地域福祉コース

福祉援助学科

- 保健福祉コース
- 子ども・家庭福祉コース
- 介護福祉コース

学びのポイント

—— 灯し、紡ぐ人になるために

01

最先端の研究を授業に反映

社会福祉学の専門家はもちろん、新たな分野や最新の研究をしている専門家による教育を展開。社会の変化に対応した最新の研究や実践活動が教育の場に反映され、多職種連携やコミュニティソーシャルワーク、高齢者や障がいのある方の権利擁護など、幅広い課題に触れることができます。

02

多彩なチャンネルで実践に触れる

ソーシャルワーク実習を全員が受けることに加えて、各資格課程でも実習が行われます。また、ゼミごとの見学や調査、実践への参加も積極的です。ボランティアやアルバイトでも実践的な体験をすることができます。

学部長メッセージ

変化する社会福祉の扉を開けて、新しい世界の躍動を感じてください

村田 文世 社会福祉学部長



Profile | 日本女子大学大学院人間社会研究科社会福祉学専攻博士課程後期修了
九州看護福祉大学准教授、日本社会事業大学准教授などを経て、現在に至る

今日、経済や社会情勢の変化に伴い、社会福祉の在り方も大きく変わってきています。その対象者は、従来の高齢者や障がい者などの要介護者にとどまらず、社会的孤立や生活困窮など様々な生活課題を抱える人々にまで拡大し、普遍化しています。同時に、支援の担い手も行政のみならずNPO法人や営利企業、住民ボランティアなど、多様化しています。これまでの概念を超えた新しい社会福祉が求められているのです。

本学では、「忘我友愛、窮理窮行、平和共生」の理念の下、社会問題の解決に挑むソーシャルワーカーを養成します。福祉計画学科においては、多様な人々による地域共生社会の実現に向けた仕組みをどう創っていくか、俯瞰的な「鳥の目」の視点から、国や自治体の制度や政策、住民を含めた地域福祉など、社会のあり方を中心に学びます。福祉援助学科においては、誰もが自律的に生きるために、また誰一人取り残さないためにどのような支援が求められるのか、個別的な「虫の目」の視点から、援助技術を中心に学びます。

変わりゆく社会のなかで、社会福祉の世界は、皆さんの想像以上に奥深く広がっています。学びの扉を開けて、是非、新しい社会福祉の躍動を感じてください。

カリキュラム

社会福祉学部

- 福祉計画学科 福祉経営コース/地域福祉コース
- 福祉援助学科 保健福祉コース/子ども・家庭福祉コース/介護福祉コース

履修モデルについては、P35からのコース紹介ページをご覧ください。
 履修科目の詳細は本学Webサイトをご確認ください。

シラバスサイトは
[こちら](#)



1・2年次では幅広い知識や技術を身につけ、3年次でコース(ゼミ)を選択、目標を絞る

社会福祉を体系的に学ぶ体制を確立。全員が社会福祉士国家試験受験資格を取得するとともに、精神保健福祉士国家試験受験資格や保育士*など、ほかの資格の取得も含めて柔軟に学習を組み立てられるように配慮しています。社会福祉士となるための実習を行うので、3年次進級の際には一定の履修要件を課しています。3年次より選択したゼミによりコース登録を行い*、コースにわかれて学びます。また、各コースには履修モデルを設け、目指す進路に合った履修指導を行っています。

*「保育士課程」及び「介護福祉コース」は1年次に登録を行います。

● 4年間の学びの流れ

1年次 基礎を知る	2年次 専門を知る	3年次 実践する	4年次 仕上げる
まずは教養科目を中心に学び基礎学力を身につける。専門科目への導入として、少人数の演習形式の授業も1年次からスタート。	社会福祉の専門科目が増えるとともに、演習を通して実践的な知識・技術を身につけていく。コース選択ができるよう目標を絞る。	各学科・コースの特長に基づき専門知識を深めていく。教員の専門テーマで選ぶ専門演習が必修に。実習も履修モデルに合わせて実践的に行われる。	大学教育の総仕上げとして論文、実習報告書、調査報告書のいずれかを作成。卒業後の進路計画を立てるとともに、社会福祉士国家試験に備える。

● 学部共通科目

	1年次	2年次	3年次	4年次
アカデミック・プランニングI	アカデミック・プランニングII			
一般教育	外国語科目(英語・ドイツ語・フランス語・中国語・日本語・アメリカ手話) 教養科目(人間の知性と感性の認識・科学的思考と自然の認識・社会の認識と国際理解) 教養基礎演習(人間の知性と感性の認識・科学的思考と自然の認識・社会の認識と国際理解)		健康・スポーツ 情報科学	
国家試験指定科目	心理学/社会学と社会システム 社会福祉原論I ソーシャルワークの基盤と専門職II ソーシャルワークの基盤と専門職II ソーシャルワークの理論と方法I 地域福祉論I 法学(権利擁護を支える法制度)	医学概論/社会福祉調査の基礎I ソーシャルワークの理論と方法II ソーシャルワークの理論と方法III 地域福祉論II/社会保障論I 高齢者福祉論/障害者福祉論I 子ども家庭福祉論I 保健医療と福祉	社会保障論II 貧困に対する支援 刑事司法と福祉	社会福祉原論II ソーシャルワークの理論と方法IV 福祉サービスの組織と経営 ソーシャルワーク実習の意義・知識・技術を具体的かつ実践的に理解し、実践的な技術などを体得します。社会福祉士として総合的に対応できる能力を修得し、専門的援助技術を体系立てます。
演習		ソーシャルワーク演習I/ソーシャルワーク演習II	専門演習/ソーシャルワーク演習III	
実習指導		ソーシャルワーク実習指導I	ソーシャルワーク実習指導II	
実習	実習に関わる施設・機関などの役割や事業及び実践活動について理解を深めます。また、学生自身の具体的な実習課題の抽出方法や整理の仕方について学びます。	ソーシャルワーク実習I	ソーシャルワーク実習II	
卒業研究			卒業研究 [1]論文 [2]実習報告書 [3]調査報告書 ※[1][2][3]のいずれかを選択	

● 学科別必修科目、履修モデル

	学科必修科目	履修モデル
福祉計画学科	福祉経営コース	福祉経営履修モデル[福祉と計画(行政計画)]「福祉計画の世界」/福祉と政策(理論)
	地域福祉コース	地域福祉計画履修モデル[福祉と計画(行政計画)]「福祉計画の世界」/福祉と政策(理論) コミュニティ・ソーシャルワーク履修モデル[コミュニティ・ソーシャルワーク論/福祉と計画(行政計画)]「福祉計画の世界」
福祉援助学科	保健福祉コース	高齢者履修モデル[高齢者の理解と援助/発達と老化の理解II] 障害者履修モデル[社会福祉と権利擁護/障害者福祉論II] 医療福祉履修モデル[医療ソーシャルワーク実習/認知症ケア論I] 精神保健福祉履修モデル[医学概論/心理学] 特別支援教育履修モデル[障害児教育総論/聴覚障害児の心理]
	子ども・家庭福祉コース	子ども・家庭福祉履修モデル[子ども家庭支援論/スクールソーシャルワーク] 児童ソーシャルワーク履修モデル[児童の健全育成/問題を抱える子どもへの支援I(児童虐待・トラウマ)] 保育士履修モデル[子ども家庭支援論/社会福祉と権利擁護] 子育て支援履修モデル[社会的養護I/保育内容の理解と方法ID] スクールソーシャルワーク履修モデル[スクールソーシャルワーク/子ども家庭支援論]
	介護福祉コース	介護福祉履修モデル[介護概論II/介護実践・開発]

学びを深める年次ステップ



田鹿 樹さん

福祉計画学科
 地域福祉コース 卒業
[出身高校]
 東京都 私立 東亜学園高等学校
[取得見込みの資格]
 社会福祉士・精神保健福祉士

1年次から着実に福祉職の理解を広げ 高校生からの夢を実現

人と向き合う仕事に就きたいと思い福祉分野に興味を持ち、本学に入学。はじめは対人援助が学びの中心だとイメージしていましたが、1年次に受けた講義で権利や制度も重要な点であることを認識しました。2年次では家族の支援の重要性を痛感し、精神保健福祉士の資格取得を決意。3年次以降は実習を経験し、自身の行動や心情を詳細に振り返り、考え方や捉え方を客観的に見つめ直しました。また利用者さんの声を聞く機会を得たことで、広い視点で解決したいと考え、卒業後は地方上級・特別区公務員として本人に寄り添う支援を考えています。

資格課程などの実習(選択)

社会福祉士に加えて各資格取得のための実習があります。資格課程の登録に関しては、資格課程オリエンテーションにて詳しい説明が行われます。社会福祉士の実習はP8を参照

介護実習

目指す資格 **介護福祉士**

大学が指定する高齢者介護施設、障がい者支援施設、訪問介護事業所において段階的な実習を1~4年次で行います。実習では利用者の尊厳を支える理念のもと、要支援・要介護状態の方の自立支援となる生活支援技術の実践力を身につけます。

- 介護実習I(1年次 12日間)
- 介護実習II(2年次 23日間)
- 介護実習III(3年次 6日間)
- 介護実習IV(4年次 17日間)

精神保健福祉援助実習

目指す資格 **精神保健福祉士**

精神保健福祉士の専門的役割と業務について理解を深めるため、精神科病院および地域支援施設などで実習を実施。精神障がいのある方たちをめぐり地域社会や、人権問題の実態に触れながら、専門家としての自覚に基づいた行動がとれるよう成長することを目指します。

- 精神保健福祉援助実習(3・4年次 30日間)

保育実習

目指す資格 **保育士**

(1)事前訪問(2)見学実習(3)参加実習(4)責任実習(指導計画作成)の段階があります。保育全般に参加しながら子どもの個人差を理解して対応する方法、子どもの家族との関わり方などを学びます。また保育士に求められる資質・技術・能力を考えて自己の課題を明確にします。

- 保育実習IA(3年次 10日間)
- 保育実習IB(4年次 10日間)
- 保育実習II(4年次 10日間)

福祉科教育実習

目指す資格 **高等学校教諭一種免許状(福祉)**

実習の目的は、(1)教員の職務の概要をつかむ(2)教科指導、生徒指導などに必要な能力を身につける(3)高校生の実態に触れる(4)学校運営を知ることです。事前に学習指導計画を立てて教育実習に臨み、実習後はレポート作成と報告会を通じ実習生活と研究授業を振り返ります。

- 高等学校教育実習(4年次 2週間)

特別支援学校教育実習

目指す資格 **特別支援学校教諭一種免許状(聴覚障害者)**

特別支援学校で教育実習を実施。肢体不自由、知的障がい、聴覚障がい、視覚障がいなどのある児童・生徒の教育に携わるために必要な知識と技術を身につけ、特別支援学校の教員のほか福祉施設で障がいのある子どもに関わるソーシャルワーカーとなる人材を目指します。

- 特別支援学校教育実習(4年次 2週間)

子ども・家庭ソーシャルワーク実習

目指す資格 **児童ソーシャルワーク課程(修了認定)**

自分の関心のある施設で20日間の実習を行います。実習先は、子育て支援系、虐待対応施設系、スクールソーシャルワーク系、発達障がい系(障がい児通園施設など)、自立支援・地域支援系(自立援助ホームなど)、司法福祉系(弁護士事務所など)、子ども医療系にわかれています。

- 子ども・家庭ソーシャルワーク実習(4年次 20日間)

スクールソーシャルワーク実習

目指す資格 **認定スクールソーシャルワーク(教育課程指定科目)**

実習先は学校現場を基本とし、学校内外の教育機関で実施します。子どもおよび家族の生活上の困難を把握して、問題解決のための方法と子どもの権利擁護について、さまざまな観点から検討します。また、スクールカウンセラーなど、地域の諸機関との連携・協働についても学びます。

- スクールソーシャルワーク実習(4年次 10日間)

医療ソーシャルワーク実習

目指す資格 **医療ソーシャルワーカー**

医療ソーシャルワーカーの役割と業務について理解し、各医療専門職種との連携方法を具体的に理解します。また、地域における病院の機能をふまえ、各関連施設等との役割分担や連携の課題と、医療ソーシャルワーカーの役割を検討し、自身が成長するための学習課題を明確にします。

- 医療ソーシャルワーク実習(4年次 10日間)

福祉計画インターンシップ

目指す資格 **福祉計画インターンシップ**

福祉計画学科の学生向けに開講。行政機関、社会福祉協議会、NPOをはじめとした公益法人、民間企業にてインターンシッププログラムに参加し、それぞれの専門業務に携わる人々が仕事のなかで考えていることに触れながら、仕事の大変さと面白さを体験し、自らの成長につなげます。

- 福祉計画インターンシップ(3~4年次いずれか5~10日間)



My history

高校時代
 介護職を務める父から、利用者の方のお話やイベントでの出来事について耳にし、福祉の仕事に関心を持つように。

▼

日本社会事業大学に入学
 福祉を専門的に学べる大学を目指し、実績のある日本社会事業大学を選択。

▼

1年次
 「権利擁護」に関する授業を受けて、権利や制度設計もソーシャルワークに欠かせない分野であることを知りました。福祉の役割について見識を深めます。

▼

2年次
 「精神保健福祉論」などの専門となる学びにも触れ、3年次以降の進路を検討。特に貢献したいと感じた、精神保健福祉の分野を目指します。

▼

3年次 ゼミ選択
 コースとゼミ選択後、社会福祉士の実習へ。現場で感じたことをメンバーとともに報告会で発表。他の学生の話聞き、視野を広げられました。

▼

4年次 精神保健福祉援助実習
 「精神保健福祉援助実習」では、精神保健福祉士としての役割や考え方を学びながら、実習で学んだことを報告書として仕上げました。

ターニングポイント

一目でわかる、学科の違い

福祉計画学科

■ 福祉経営コース ■ 地域福祉コース



社会福祉サービスに関する制度・政策や経営を学び、共に生きる地域社会づくりへの貢献を目指す

法学、経済学、社会学、教育学などの社会諸科学を基礎とし、これからの社会福祉政策、福祉サービス事業の経営、地域福祉などを学び、さらに高齢者や若年層の孤立、生活困窮による社会からの排除など、現代の幅広い社会問題にアプローチします。社会福祉の各種専門職として、共に生きる地域社会づくりに貢献できる人材を育てます。

福祉経営コース

福祉経営履修モデル

地域福祉コース

地域福祉計画履修モデル
コミュニティ・ソーシャルワーク履修モデル

育成する人材像

- 地域福祉を通して自分らしい暮らしをつくる人材
- 福祉の視点で地域社会づくりを進める人材
- 社会福祉法人や福祉系企業、NPOの経営に携わる人材
- 福祉専門職の立場から福祉行政を担う人材
- 学校や社会福祉協議会で福祉教育に携わる人材
- バリアフリー環境の実現・開発に携わる人材



福祉援助学科

■ 保健福祉コース ■ 子ども・家庭福祉コース ■ 介護福祉コース



支援を必要とする人々のウェルビーイングを高めるための価値・倫理や知識、専門的技術を修得する

介護が必要な方や家庭内に問題を抱えている方などの生活の問題の解決に向けサポートしながら、より良い生活を実現するために必要な理論や専門的技術を修得します。人を好きになる心を育みながら、その人の力を引き出す技法を身につけ、福祉現場のリーダーとなる人材を育てます。

保健福祉コース

高齢者履修モデル 精神保健福祉履修モデル
障害者履修モデル 特別支援教育履修モデル
医療福祉履修モデル

子ども・家庭福祉コース

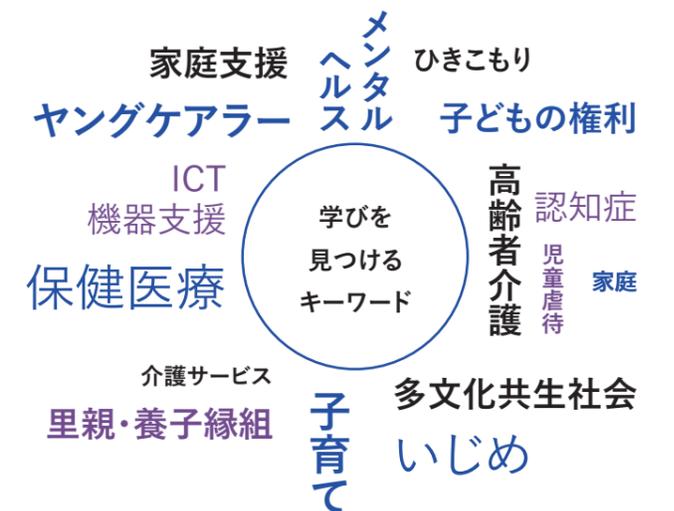
子ども・家庭福祉履修モデル 子育て支援履修モデル
児童ソーシャルワーク履修モデル スクールソーシャルワーク履修モデル
保育士履修モデル

介護福祉コース

介護福祉履修モデル

育成する人材像

- 子どもの健やかな成長を支援する人材
- 病気や障がいのある人たちを支援する人材
- 高齢者の活力ある生活を支援する人材
- 介護を通して生きる力の回復を支援する人材
- さまざまな問題に悩む家庭を支援する人材
- いじめや不登校への支援を構築する人材



ウェルビーイング (well-being): 心身と社会的な健康を意味することばです。身体だけでなく、精神的、社会的にも満たされている広い意味の幸福・多面的な幸せを表します。

社会を俯瞰して、
福祉サービスの
マネジメントを考える。



福祉計画学科

- 福祉経営コース
- 地域福祉コース

【教員紹介】 QRコードは教員のresearchmapにリンクします。

〈2024年4月現在〉

村田 文世 教授(学部長)

[担当科目] 福祉と経営、地方自治論、福祉と政策(理論) 他
[研究テーマ] 福祉政策論(サービス供給論) 他



賛川 信幸 教授

[担当科目] 精神保健福祉の原理II 他
[研究テーマ] 精神障害当事者と家族のリカバリーに向けた支援プログラムの開発・改善 他



ヴィラーグ ヴィクトル 准教授(学科長)

[担当科目] ソーシャルワークの理論と方法IV、国際社会福祉論 他
[研究テーマ] 多様性に対応したソーシャルワーク、国際社会福祉 他



菱沼 幹男 教授

[担当科目] 地域福祉論II、コミュニティ・ソーシャルワーク論 他
[研究テーマ] 包括的支援体制の構築に向けた個別支援と地域支援のあり方



入部 寛 教授

[担当科目] 社会保障論I 他
[研究テーマ] 社会保障(政策、法、教育)、福祉国家論、地域共生社会と地域包括ケア、政治理論、民法



倉持 香苗 准教授

[担当科目] 地域福祉論I、地域福祉計画論、ソーシャルワーク実習指導I 他
[研究テーマ] 地域共生社会の実現を目指したコミュニティカフェ運営 他



梶原 洋生 教授

[担当科目] 法学、社会福祉と権利擁護 他
[研究テーマ] 福祉法学、司法福祉



佐々木 貴雄 准教授

[担当科目] 社会保障論、社会学と社会システム 他
[研究テーマ] 医療保険制度における保険者、社会の変化に対応した社会保障制度



竹内 幸子 教授

[担当科目] 情報科学、福祉計画とデータ分析A・B 他
[研究テーマ] 福祉における統計学、原子核理論物理学



デバコタ ジバナト 講師

[担当科目] 英語A、英語B
[研究テーマ] 途上国におけるジェンダー問題、貧困問題、国際移住 他



田村 真広 教授

[担当科目] 教育原理、福祉科指導法、福祉科教育実習 他
[研究テーマ] 教育福祉と福祉教育実践、学校カリキュラムの歴史と理論 他



学科長 MESSAGE

広い視野で生活課題の背景にある構造的な問題を理解し
解決策を立案し実行に移せるソーシャルワーカーへ。

ヴィラーグ ヴィクトル 准教授 福祉計画学科 学科長

地域福祉やコミュニティワークが直面する、差別や制度の「狭間」といった個人が抱える生活課題の背景には、社会の構造的な問題が存在しています。本学科ではそれらの社会問題を、メゾ(地域社会)・マクロ(日本社会)・グローバル(国際社会)というそれぞれのレベルで分析し理解を深めます。さらに問題の解決に向けて、福祉サービスや制度の運営や政策提言といった実践的な働きかけについて考えます。肝心なのは、多様な人々の生活様式や人生、将来の生きがいにまで考えを巡らせること。広い視野を持ち、構造を理解し、実践力を備えたソーシャルワーカーの育成を目指します。

学科 PICK UP

最前線で事業活動に触れる「福祉計画インターンシップ」

国の機関や地方自治体などの行政機関をはじめ、社会福祉協議会やNPO法人、福祉関連企業など、多様な福祉組織の最前線やさまざまな民間企業の事業活動に、学生が主体となって計画して体験します。卒業後のキャリア形成や“働く”ことのイメージづくりとして役立ちます。

時代の要請に応える多彩な資格の取得が可能

将来、福祉経営や政策の専門家養成する福祉経営コースと、コミュニティソーシャルワーカーなど地域福祉の専門家養成する地域福祉コースを設置しています。福祉最前線の専門職に求められる実践的知識を修得し、地域共生社会の形成に貢献する人材を養成します。



福祉経営コース

福祉に関する政策や計画、施設経営を学び、より良い仕組みづくりを考える。

POINT 1
制度・政策や福祉経営の面から具体的な改善方を立案する。

社会福祉に関わる制度の成り立ちや歴史を学ぶとともに、福祉サービスが必要とする人々に生じている問題について把握します。その解決に向けて、法・経営・計画・政策の面から具体的な改善方を考えます。

POINT 2
重要視されているテーマと向き合い時代のニーズに応える力を育む。

福祉計画の策定や施設のより良い経営、サービス利用者への情報提供、利用援助など、重要視されているテーマを学習。利用者の現状を分析し、時代のニーズに応えるシステムを構築・運営する力を育みます。

≫ 卒業後の将来像

福祉にまつわる制度・政策や福祉経営に関する専門職

≫ 主な職場・職種

- 公務員（福祉職・一般行政職）
- 社会福祉協議会福祉活動専門員
- 社会福祉法人（企画・運営職）
- 福祉関連企業（総合職）

専門性を身につける「履修モデル」

福祉経営履修モデル

福祉サービスを必要とする人々の問題を把握し、その解決に必要な制度・政策や福祉経営について、実施上のシステムなどを含めて学びます。福祉サービスが措置から契約・利用制度へと転換するなか、利用者への情報提供などの重要なテーマも学びます。

授業紹介

福祉と計画（行政計画）

福祉計画学科全教員による講義で、各教員が専門の研究内容を紹介したり、社会福祉領域の最新・専門トピックを取り上げます。学びの視座や、地域をめぐる課題、その解決に向けた手段や方法、関連する福祉理論など福祉計画学科における学びの基礎を理解します。具体的には、被災地復興の計画や地域拠点としてのコミュニティカフェなどについて学習します。2年生後期のコース・ゼミ選択を行う手がかりとなり、今後の学習・進路選択のきっかけにもなるため福祉計画学科1年生全員の履修を推奨しています。

福祉と政策（理論）

【社会政策の基本的枠組み】【福祉国家の形成と再編】【21世紀における福祉政策の新展開】の3つの視点から講義を行います。社会福祉学を理解する際に重要となる社会福祉政策の概念や理論を学びます。戦後の福祉国家の形成から、福祉国家再編（福祉多元化、市場化）に至るまでの福祉政策の動向を、理論的かつ実証的に考察します。また、近年のNew Public Management型行政改革に伴う新しい公私協働の拡大（事業委託、指定管理者制度、PFI、民営化）、「新しい公共」「地域共生社会」や「住民参加」など、政府の推進する新しい福祉政策の意義と課題について考えます。

New Public Management型行政改革：行政改革のアプローチの一種で、政府や公共機関が民間企業の経営手法を導入し、効率性や成果の向上を図ります。
PFI(Private Finance Initiative、民間資金活用)：イギリスを起源とする公共セクターのインフラストラクチャー開発やサービス提供のための手法のことです。

多様な考えや価値観にふれた経験を現場で生かしていきたい。

野々村：私の専門分野は精神保健福祉ですが、ゼミ生のテーマは多岐にわたっています。分野横断的に、研究的視点やプログラム評価の視点から考えて、テーマが異なっても全員で視点を共有しながら学ぶことを大切にしています。

野々村：私は卒論で「性の多様性」について取り組みました。ゼミで進捗報告をすると、「もっと主題を絞ったほうが良い」「根拠を提示できていないのでは？」など、みんなから意見をもらえたのが良かったです。

野々村：ディスカッションを通して卒論がブラッシュアップされていきましたね。自主的に討論を進めていく場になればと、司会もゼミ生に任せていました。

野々村：最初の頃は、文献の要約のような論文になってしまっ、批判的視点をどうやって持つのが難しかったです。

野々村：野々村さんは海外の事例も取り上げていたので、それと比較して日本では何が課題になるのかを考察してみたらどうかとアドバイスしましたね。

野々村：先生の助言のおかげで考察を深めることができました。

野々村：同期のゼミ生たちも、コミュニティカフェやサードプレイスなど、多種多様なテーマに取り組んでいましたね。周りから受けた刺激も大きかったのでは？

野々村：ゼミを通してさまざまな考えや価値観にふれることができました。これから現場に出る上でも、広い視野を持つことを大切にしていきたいです。

Student's Voice

誰もが生きづらさを感じることなく暮らせる社会を目指して。

福祉計画学科 福祉経営コース 卒業

野々村 一佳さん(島根県立大東高等学校 出身)

福祉に興味を持ったのは、高校時代のデイサービスでのボランティアがきっかけです。単科大学で同じ目標を持つ仲間と一緒に学べることや、社会福祉士の国試対策が充実していて合格率も高いことから、本学への入学を決めました。少人数授業でグループワークが多いのも本学の魅力です。3年次の相談援助演習Ⅲでは、学生間で意見交換をすることで多くの気づきがあり、視野が広がりました。卒業後は、一人でも多くの人が生きづらさを感じずに生活できるような社会に寄与していきたいと思っています。就職先の社会福祉法人には、特別養護老人ホームやデイケア、短期入所、介護老人保健施設などさまざまなサービスがあるため、現場をたくさん経験して成長していきたいです。

My Choice 賛川ゼミ

1～2年次に「アカデミック・プランニング」という授業の担当教員だった賛川先生。気さくで話しやすい人柄や、ゼミ生の研究テーマの多様さに惹かれて、賛川ゼミを選択しました。ゼミでは各々のテーマについて話し合う時間が長く取られていて、他の人の意見を聞いて新たな発見があったり、自分自身の考え方の傾向に気づけたりと、ディスカッションを通して多くの学びを得ました。

Close-Up Seminar

学生×教員対談



福祉計画学科 賛川 信幸 教授

福祉計画学科 福祉経営コース 卒業 野々村 一佳さん

Field Report —ゼミの現場から—

自ら調べ、思考し、根拠を持って言語化する力や、福祉ニーズとして大局的に捉える力を養うことを大切にしている賛川ゼミ。ゼミではディスカッションに多くの時間を割く一方で、個別指導の時間も設けてコミュニケーションを取り、相談しやすい環境づくりを大切にしています。

地域福祉コース

地域で暮らす人々に寄り添い、
地域福祉を推進するリーダーを目指す。

POINT 1

個別支援と地域支援の統合による 地域福祉の推進方策を学ぶ。

地域生活を支えるための個別支援だけでなく、暮らしている環境に対する地域支援の具体的な方策について学びを深めます。講義だけでなく、地域福祉の実践現場でのフィールドワークも豊富です。

POINT 2

多岐にわたる分野と連携し、 あらゆる生活ニーズに向き合う。

保健・医療・教育・司法・労働など多分野との横断的連携が不可欠な地域福祉の現場。幅広い領域の学習を通して、制度の狭間のニーズにも向き合い、地域福祉を推進するリーダーを育成します。

≫ 卒業後の将来像

地域生活支援に関する実践、計画策定、
人材養成などを担う専門職

≫ 主な職場・職種

- 公務員（福祉職・一般行政職）
- 社会福祉施設
- 社会福祉協議会
- コミュニティソーシャルワーカー
- 地域包括支援センター
- 高等学校福祉科教員

専門性を身につける「履修モデル」

地域福祉計画履修モデル

自治体の福祉計画をもとに、高齢者や障がいのある方が地域で自立した生活を送るための施策を学びます。サービス提供のシステム、医療などの他分野との連携、住民参加による地域福祉計画づくりについても学びます。

コミュニティ・ソーシャルワーク履修モデル

支援を必要とする人のニーズを把握し、地域の福祉サービス・制度と結びつけていく福祉計画の具体的な手法を学びます。保健・医療機関との連携、新サービス開発、市民の福祉意識の向上についても取り上げます。

授業紹介

地域福祉計画論

2000年の社会福祉法改正において地域福祉の推進が掲げられ、その主体は地域住民に。さらに、地域福祉を推進するために市町村および都道府県が地域福祉計画を策定する際には地域の意見を反映させるものとされ、その後、地域住民が支援関係機関と連携しながら主体的に課題を解決することが重視されるようになりました。

こうした背景について、地域福祉計画の歩みや方針の決め方を学習するとともに、事例を通じて地域の実情に応じた地域福祉計画のあるべき姿について学びます。また、地域福祉の推進を目的とした民間の活動である地域福祉活動計画についても学習し理解を深めます。基本的に講義ですが、方針の決め方の理解を深めるために、グループワークも実施します。

コミュニティ・ソーシャルワーク

地域で生活する一人ひとりが豊かな社会関係に囲まれ、社会的役割をもつことで幸せに生活する。地域福祉の目的は、そんな社会をつくることです。そのための技法としての「コミュニティ・ソーシャルワーク」を学ぶ講義形式の授業です。概念や機能、展開のプロセス、実践のためのシステムを学びます。さらに教員の現場経験や各地でのコンサルテーションにおける事例を中心に講義を進めるので、先進的な実践事例を学習することで、理解を深められます。また、ゲストスピーカーによる講演も実施しています。

個性豊かなテーマに取り組み、 国際性と多様性に富んだ

ヴィラーグ：私のゼミでは、国際社会福祉や、文化および性の多様性に関する卒業研究テーマを希望する学生を特に歓迎しています。

渡辺：私は高齢者福祉と児童福祉に焦点を当て、日本と韓国の社会福祉の制度比較を中心とした研究を行いました。

ヴィラーグ：ゼミ生の研究内容は多岐にわたっていましたが、原宿の「カワイイ」文化をテーマにした学生や、鉄道が好きで駅のバリアフリー化を比較分析した学生もいました。

渡辺：テーマはそれぞれでしたが、お互いにアドバイスし合ったり助け合ったりしながら研究を進めていました。先生は、ゼミの時間以外でも、個別で相談に乗ってくれましたよね。進路を考える時に、先生から助言をいただきましたね。最初は、地域福祉に関する仕事に就きたいと考えていましたが、障害者就労支援施設に実習に行って考えが変わりました。現場に入らなければ聞くことができない声があると気づいたんです。

ヴィラーグ：私からも「卒業後は現場に一度出たほうが良い」とアドバイスをしましたね。将来を考える上で、渡辺さんのように柔軟な姿勢を持つことはとても大切です。

渡辺：まずは現場の声を聞き、今の福祉には何が足りないのかを知った上で、将来は地域福祉に携わりたいです。

ヴィラーグ：自分の問題意識を常に大事にして、社会問題の解決に貢献するという高い志を持ち続けてください。

Student's Voice

自ら現場を経験した上で 地域福祉に貢献していきたい。

福祉計画学科 地域福祉コース 卒業

渡辺 彩加 さん(山梨県立吉田高等学校 出身)

福祉系の他大学で学ぶうちに、地域福祉に興味を持ちました。しかし、その大学には地域福祉に特化した専攻がなかったため、本学への3年次編入を決意しました。地域福祉コースでは、さまざまな地域の福祉の実践例を学べます。また、他学科の授業を履修できるのも本学ならではの魅力です。私は援助学科の授業を通して、メゾからマクロレベルだけでなくミクロレベルの視点でも物事を捉え、あらゆる角度から支援を考える重要性を学ぶことができました。卒業後は、地元の障害者就労支援施設で働く予定です。まずは自ら現場に入って、利用者さんの声を聞き、何が求められているのかを知った上で、将来は地域福祉に関する仕事に携わりたいです。

My Choice ヴィラーグゼミ

国際社会福祉やグローバル・ソーシャルワークを専門とするヴィラーグ先生のもとで学べば、日本だけでなく海外の事例についても意見を聞くことができると思い、ゼミを選択しました。ヴィラーグ先生に「一緒に頑張りましょう」と声をかけていただいたことも、卒業論文で「日本と韓国の社会福祉制度の比較」というテーマに取り組もうと決める後押しになりました。

Close-Up Seminar

学生×教員対談



福祉計画学科 地域福祉コース 卒業

渡辺 彩加 さん

福祉計画学科

ヴィラーグ ヴィクトル 准教授

Field Report —ゼミの現場から—

研究能力と論文執筆力の修得を第一の目的とするヴィラーグ先生のゼミ。学生の主体性を尊重するという方針のもと、一人ひとりの興味関心に沿った個性豊かな研究が行われています。ディスカッションの際は必ず全員が発言するように促すなど、参加型学習を重視しているのも特徴です。

生活課題に直面する人々の
ウェルビーイングを目指し、
実践的な学びを得る。



福祉援助学科

- 保健福祉コース
- 子ども・家庭福祉コース
- 介護福祉コース

学科長 MESSAGE

多様で幅広い学びと、専門性の高い知見で
深い理解のある福祉のリーダーを目指す。

宇野 耕司 准教授 福祉援助学科 学科長

本学科は、福祉のリーダーとして実践現場に対応できる専門家を養成するために、基礎から応用まで学びます。人々の人権や生活課題、心身の発達と健康、社会的障壁などの福祉のニーズから、相談支援や介護などの直接的援助の方法、多機関・多職種との連携・協働についてまで、その内容は福祉領域のあらゆる範囲に広がっています。さらに、専門性を深めるために保健福祉コース、子ども・家庭福祉コース、介護福祉コースを設定し、11の履修モデルを提供しています。実践的に学び、福祉ニーズのある人々への理解を深め、さまざまな立場の人を受容し共感する人材を育てます。

時代の要請に応える多彩な資格の取得が可能

保健医療や介護福祉、子ども家庭福祉や障がい者福祉の現場を支援するために必要な、専門的かつ実践的な知識を学びます。保育士や認定スクールソーシャルワーク、介護福祉士や児童ソーシャルワーク課程などのさまざまな資格を取得できるのが特徴です。



【教員紹介】 QRコードは教員のresearchmapにリンクします。

〈2024年4月現在〉

宇野 耕司 准教授(学科長)

[担当科目] 問題を抱える子どもへの支援 他
[研究テーマ] 子ども虐待、養育者支援プログラム、支援者支援 他



有村 大士 教授

[担当科目] 子ども家庭福祉論I・II、社会的養護I 他
[研究テーマ] 子ども家庭福祉



小田 美季 教授

[担当科目] 障害者福祉論I、障害構造論 他
[研究テーマ] 地域研究(国際比較)、障害者福祉



小原 真知子 教授

[担当科目] 保健医療と福祉、医療ソーシャルワーク実習指導 他
[研究テーマ] 医療ソーシャルワーク、医療福祉領域、ソーシャルワーク援助技術 他



木村 容子 教授

[担当科目] ソーシャルワークの理論と方法I、社会的養護II 他
[研究テーマ] ソーシャルワーク実践モデル、子育て支援、社会的養護 他



下垣 光 教授

[担当科目] 認知症ケア論、高齢者の理解と援助 他
[研究テーマ] 認知性の人と家族への支援(認知症の人と家族への直接的な援助等)



森 千佐子 教授

[担当科目] コミュニケーション技術II、生活支援技術I、医療的ケアI・II 他
[研究テーマ] 高齢者支援、家族介護者の支援、介護福祉教育、多職種連携



相原 朋枝 准教授

[担当科目] 健康科学、保育内容の理解と方法I 他
[研究テーマ] 舞踊学(主に現代舞踊)、身体表現、パフォーマンス、ボディワーク



上村 勇夫 准教授

[担当科目] (新)労働ソーシャルワークI、ソーシャルワーク実習指導I 他
[研究テーマ] 障がい者の労働と生活を支えるソーシャルワークのあり方



内田 宏明 准教授

[担当科目] スクールソーシャルワーク、教育相談 他
[研究テーマ] スクールソーシャルワーク、学校福祉、子どもの権利、子どもの貧困 他



亀崎 美沙子 准教授

[担当科目] 保育原理、子育て支援 他
[研究テーマ] 子育て支援、乳幼児教育・保育、保育者の専門職倫理



富永 健太郎 准教授

[担当科目] 障害者福祉I、社会事業と社会福祉の歴史、社会福祉法人経営・人材育成 他
[研究テーマ] 社会福祉学(障害者福祉、社会福祉法人経営、ソーシャルワーク)



永嶋 昌樹 准教授

[担当科目] 高齢者福祉論、介護過程の展開と実践I、介護実践・開発 他
[研究テーマ] 里孫活動(高齢者と子どもとの世代間交流活動)、農業福祉 他



新藤 健太 講師

[担当科目] ソーシャルワークの理論と方法II、社会福祉調査の基礎I 他
[研究テーマ] ソーシャルワークとプログラム開発・評価 他



二神 麗子 講師

[担当科目] 聴覚障害児指導法、情報保障 他
[研究テーマ] 障害者福祉、聾学校スクールソーシャルワーク 他



蒲生 俊宏 特任教授

[担当科目] 障害者福祉論II、障害児教育総論 他
[研究テーマ] 障害者の教育と福祉・知的障害関係施設の歴史と展望



壬生 尚美 特任教授

[担当科目] 介護概論I・II、介護過程の展開と実践IV 他
[研究テーマ] 介護福祉、高齢者福祉、介護福祉教育、介護福祉実践方法、介護予防



保健福祉コース

日常生活における課題を把握し、
当事者の気持ちに寄り添いながら支援する。

POINT 1
豊かな人間性を育むとともに、
多方面から支援する力を養う。

講義やグループ学習、現場で働く先輩の声を通して、日常生活の課題や心身の健康、社会生活上のニーズについて把握。当事者の気持ちに寄り添いながら、課題解決に向けて多方面から支援する力を養います。

POINT 2
保健医療の専門家などと連携し、
リーダーシップを発揮する。

さまざまな人や関係機関と連携し、リーダーシップを発揮することができる人材を育成します。保健医療の専門家とチームを組んで支援する際に必要な専門的知識や援助について学ぶこともできます。

≫ 卒業後の将来像

保健医療機関において生活にフォーカスし
支援を実践する専門職

≫ 主な職場・職種

- ・医療ソーシャルワーカー
- ・特別支援学校教員
- ・精神科ソーシャルワーカー
- ・医療機関
- ・生活相談員(ケースワーカー)

専門性を身につける「履修モデル」

高齢者履修モデル

高齢者・その家族・地域への働きかけから、豊かな高齢化社会構築の手がかりを学びます。

障害者履修モデル

障がいの種別や年代の枠を超えた、包括的アプローチについて学びます。

医療福祉履修モデル

保健医療サービスと連携しながら、健康と生活の再設計を支援する福祉援助のあり方を学びます。

精神保健福祉履修モデル

精神障がいのある方の自立と社会参加を支援する、精神保健福祉士を目指します。

特別支援教育履修モデル

本学では「特別支援学校教諭一種免許状(聴覚)」の免許が取得可能です。日本初の、日本手話に特化した教職課程です。ろう学校やその他の特別支援学校教諭を目指します。

授業紹介

保健医療と福祉

急速に変化する保健医療のサービスの仕組みや、医療保障制度の体系、保健医療専門職の役割といった、保健医療と福祉の基礎的なテーマを学びます。そのうえで、保健医療に関わるソーシャルワーカーの業務と役割、保健医療専門職や地域でのさまざまな諸機関との連携について考えます。また、今後の総合的な地域ケアの課題とソーシャルワーカーの役割についても考察します。

障害者福祉論II

生まれてから年老いていくまでの間に訪れる、さまざまな人生の段階(ライフステージ)に沿いながら、ケアが必要な人への実践のイメージを共有することを目指します。基礎知識の修得とともに実践上の論点を整理し、福祉や支援教育の考え方と歴史、社会との関係について学びます。講義から学びを深める機会を見つけていただき、自ら取り組む力を身につけることを目指します。

Student's Voice

福祉の未来に貢献するため
視野を広げ、他分野とも連携したい。

福祉援助学科 保健福祉コース 卒業

平山 愛佳音 さん(千葉県立匝瑳高等学校 出身)

高校生の時にオープンキャンパスに参加し、先生や先輩の温かな雰囲気や、グループワークなどの少人数教育に惹かれて、本学を志望しました。保健福祉コースは領域が広く、高齢者・障害者・医療福祉・精神保健福祉といった多様な履修モデルがあるところが魅力です。もちろんモデル内容以外の科目の履修も可能なので、高齢者だけでなく医療や女性福祉、家族支援など、関心のあるさまざまな分野を学び、知識の幅を広げることができました。今後は社会福祉士の資格を取得し、利用者や地域の方々に寄り添える支援者になるのが目標です。大学での多面的な学びを生かし、福祉業界と異なる分野とも連携できるように、積極的に行動していきたいです。

My Choice 下垣ゼミ

「一人ひとりの発言を否定することなく共有する」をモットーとしている下垣先生のゼミを選択しました。ゼミでの発表やディスカッションは、自由に発言しやすいやわらかな雰囲気。実習期間中も、それぞれの実習先で感じたことや考えたことを、ゼミに持ち寄ってみんなで話し合う時間が励みになりました。話すだけで気持ちが楽になる仲間の存在に助けられたと実感しています。

ゼミで磨いた課題発見力・解決力は
どこに行っても必ず役立つ。

下垣:私のゼミでは、高齢者ソーシャルワークをテーマに、自治体の高齢者保健福祉計画および介護保険計画の作成に関わることから見えてくる課題を取り上げています。

平山:3年次は一人ひとりが高齢者福祉の分野で関心のあるキーワードを挙げて、文献発表やディスカッションを行いました。

下垣:高齢者福祉では地域による違いや特性を理解することも重要です。関東・北陸・九州などゼミ生の出身地がばらばらだったので、地元ではどんなサービスや取り組みが行われているのかを調べてもらいました。

平山:本学がある清瀬市の現状を知るため、地域包括支援センターにインタビュー調査をしたのも印象に残っています。

下垣:平山さんの卒業論文は「高齢者の推し活」がテーマ。高齢者の生きがいと関連していましたね。自らテーマを設定し、卒業論文という形にしていくプロセスや、プレゼンテーションを通して、この先どこに行っても役に立つ力が身に付いたはずですよ。

平山:私たち学生は、4年間の集大成だと思って取り組んでいましたが、下垣先生は「そうじゃなくて、卒論は始まりなんだ」とおっしゃいましたね。

下垣:これからは課題を自ら見つけて取り組むことが求められますから。ゼミや卒論での経験をぜひ今後に生かしてってくださいね。

Close-Up Seminar

学生×教員対談



福祉援助学科 保健福祉コース 卒業

平山 愛佳音 さん

福祉援助学科

下垣 光 教授

Field Report ーゼミの現場からー

下垣ゼミでは、高齢者が直面している課題だけでなく、むしろ高齢者自身が有する能力や潜在化している力を見出すことを重視しています。さらに、地域による違いや特性を理解し、それを生かした支援を考えるなど、高齢者をとりまく状況を多面的に捉える力を養っています。

子ども・家庭福祉コース

子どもと家庭、学校生活に関わる諸問題の解決を広い視野でサポートする。

POINT 1
子どもと家庭を支援するための専門的知識と援助力を身につける。

児童虐待や不登校などの諸問題に取り組む専門家が求められている現代社会。心身の発達や家庭環境をふまえ、子どもと家庭を支援できる専門的知識と援助力を身につけた、ソーシャルワーカーを育成します。

POINT 2
ソーシャルワークを基盤とした日本社会事業大学ならではの学び。

ソーシャルワークを基盤とした子どもや家庭、地域への支援について学びます。学内外の関係機関との連携や、地域のネットワークづくりにも貢献できる広い視野をもった人材を養成します。

≫ 卒業後の将来像

当事者の気持ちに寄り添う
子どもや家庭福祉分野の専門職

≫ 主な職場・職種

- 保育士
- 児童福祉司
- 母子指導員
- スクールソーシャルワーカー
- 児童指導員
- 公務員（福祉職・保育職）
- 教育機関

専門性を身につける「履修モデル」

子ども・家庭福祉履修モデル

子どもと家庭に関わるソーシャルワークに関する知識と理論を学びます。

子育て支援履修モデル

保育士資格の取得と、本学独自の「児童ソーシャルワーク課程」の修了認定が受けられます。

スクールソーシャルワーク履修モデル

いじめや不登校など、学校をとりまく課題に特化したスクールソーシャルワーカーを目指します。

保育士履修モデル

ソーシャルワークを学びながら、ケアワーカーとしての保育士の資格が取得できます。

児童ソーシャルワーク履修モデル

虐待やいじめなどの問題に取り組むソーシャルワーカーを養成する「児童ソーシャルワーク課程」の修了認定が受けられます。

授業紹介

子ども家庭福祉論I

私たちの社会や子ども・家庭福祉の制度・課題は、過去からの延長線上に現在、そして未来があり、その文脈を意識しながら学ぶことが重要です。過去から現在までの子ども・家庭福祉の取り組みや、子どもを取り巻く状況についての基本的な知識、重要な概念について理解を深めます。その上で支援において必要不可欠な、家庭の養育文化を理解できる力や、最新の制度・施策・支援を学びます。

スクールソーシャルワーク

現代の子どもが直面している、いじめ、不登校、教育の格差拡大などの課題に向き合うスクールソーシャルワークをメインテーマとして掲げます。また、福祉と教育の重なり合い(学校福祉)について学びを深め、「子どもの権利」や、具体的な支援方法や実践について考えます。

専門的な分野について学びを深める。
保育や介護、精神保健など

有村: 卒論まで書き終えた感想を教えてください。

望月: 授業や実習などで忙しく、大変なことも多かったのですが、同じ志を持った友人たちと自分の学びたい分野について思い切り学べました。卒業論文を執筆する時期には、みんなで有村先生の研究室に集まり、夜中まで励まし合いながら書きあげること。先生方も熱心に指導して下さるので、人間としても、福祉職を目指す者としても、成長できたと実感しています。

有村: 私もゼミ生の皆さんと一緒に考えながら、学ぶ時間を楽しく共有させていただいています。望月さんは、子ども支援の実践に進もうとされていますね。

望月: 福祉に関する基本的な知識だけでなく、保育、介護、精神保健など、より専門的な分野についてもプラスアルファで学ぶ事ができました。課程ごとに実習があるので、自分が興味のある施設に少なくとも一度は行く事ができるので、より現実的に将来について考えられます。実習の経験が就職先を考える際に参考になったという声をよく耳にします。

有村: 社会には解決すべき課題がたくさんあります。卒業しても、子どもの自己実現や家庭のウェルビーイングについて考え、共に研鑽していきましょう。ソーシャルワーカーは経験を積むことでさらに自分の価値を高めます。現場で迷った時には、大学院への進学もお勧めです。

ウェルビーイング(well-being): 心身と社会的な健康を意味することばです。身体だけでなく、精神的、社会的にも満たされている広い意味の幸福・多面的な幸せを表します。

Student's Voice

目指すのは、福祉を広い視野で捉えるジェネラリスト・ソーシャルワーカー。

福祉援助学科 子ども・家庭福祉コース 卒業

望月 理花 さん(千葉県 私立 芝浦工業大学柏高等学校 出身)

子どもと関わることが好きで、児童虐待などの社会問題に関心があったので、児童福祉に関する仕事に就きたいと考えました。本学を志望したのは、福祉全般を広く学びながら保育士資格も取得できる自分がぴったりだと感じたからです。子どもや福祉に関するニュースについての意見交換が日常会話の中で自然に始まることもあり、多くの学びや気づきを得ました。また、他のコースの学生と話すとき、今まで気づけなかった課題点やアプローチ方法が見えてくる場合もあります。こうした経験を生かし、将来は福祉について分野横断的に捉えられるソーシャルワーカーになるのが目標です。

My Choice 有村ゼミ

毎週水曜日に福祉分野における関心のあるテーマについて、自由にプレゼン発表する機会がありました。児童養護施設やヤングケアラー、ペットセラピーなどの幅広い内容を、各学生が調べてプレゼンテーションするので、自分が普段考えもしなかった新しい知見に触られました。子育て支援や児童ソーシャルワーク以外に関心がある学生も参加していて、新しい気づきに恵まれた環境でした。

Close-Up Seminar

学生×教員対談



福祉援助学科 子ども・家庭福祉コース 卒業

望月 理花 さん

福祉援助学科

有村 大士 教授

Field Report ーゼミの現場からー

ゼミの学びは、教員の指導という一方方向のものではありません。各学生が自分の関心に沿ってテーマを見つけ、調べたり分析したりしたものを情報共有したり意見を交わしたりして、学びを深めています。卒業論文という大きな課題に向け、各自のテーマについてお互い議論し合うことで学びを結実させます。

介護福祉コース

介護の歴史や制度、専門的技術を学び、適切なケアプランを実践できる力を養う。

POINT 1

今日の多様な介護ニーズに応えるケアワークの知識と技術を修得。

介護に関連する基礎知識から支援に必要な専門的技術まで幅広く学びます。複雑化・多様化する介護ニーズに対して、エビデンスに基づく生活支援を提供し、介護サービスの運営や改善に貢献できる力を養います。

POINT 2

社会福祉士と介護福祉士の2つの資格取得を目指す。

本コースでは、高齢者・障がい者への支援や家族、地域、医療など、さまざまな分野について学びます。ソーシャルワークとケアワークの学びを深めることで、福祉専門職としての総合力が身につきます。

≫ 卒業後の将来像

QOL(生活の質)の向上を目指す
介護福祉分野の専門職

≫ 主な職場・職種

- 高齢者福祉施設
- 介護職員(ケアワーカー)
- 医療機関
- 居宅介護支援事業所
- 障がい児・者施設

専門性を身につける「履修モデル」

介護福祉履修モデル

4年間の積み上げができるように1年次から専門科目を設けています。生活支援に関する専門的な知識・技術を多領域から学び、段階的な実習を通して、支援・介護を必要とする人が自立に向けてその人らしい生活ができるよう、個別援助過程を学びます。そして、多職種と連携・協働し、チームマネジメントできる実践力を磨きます。

授業紹介

生活支援技術I

その人らしい生活、自立に向けて、適切な方法を選択し、安全に援助するための知識と技術を修得します。

演習を通して、状況に応じた対応や実施時の注意点について、学生自身が考える授業です。技術演習では利用者役と介護者役を体験することで、利用者の立場で考え、よりよい方法や配慮について考えることを心掛けてもらいます。具体的には、「ベッドメイキング」「シーツ交換」「車いすによる移動介助」などの演習を行います。単に技術の手順を覚えるのではなく、「尊厳」や「自立・自律」「保有能力の活用」「可能性の発見」「自己決定」「その人らしさ」などのキーワードを意識して、学習していきます。

介護実践・開発

介護を巡る状況は、徐々に変わっています。複雑化・多様化する介護ニーズに対応するために、今までの制度・システムの枠内にとどまらず、新たな手法やシステムを創造・開発できる柔軟な思考を身につけることが目標です。「介護」をミクロからマクロまでの広い視点で考え、盲導犬、聴導犬、介助犬などの補助動物、農福連携による高齢者を対象とした介護予防の取り組み、アミューズメント型デイサービス、介護ロボットなどの広範囲なトピックを教材として取り扱います。

「伝える力」を現場で生かす。自由に意見交換できる場で育んだ

崎山:卒業論文では、認知症家族介護者の困難に対してボランティアや専門職がどのように関わっていくかというテーマで、文献調査に取り組みました。

森:多くの文献をしっかりと整理して読み込んで、コツコツと頑張っていましたね。私のゼミでは、ディスカッションを行う中で、焦点を絞ったり、逆に視野を広げたりして、それぞれのテーマを深めていきます。疑問を持つ力や探究する力を身に付けてほしいので、意見を自由に言い合える雰囲気づくりを大切にしていますね。

崎山:森先生はいつでも否定せずに受け入れてくださるので、みんなが安心して発言できます。私は人前で話すのがあまり得意ではなかったのですが、ゼミで発表の機会が多かったおかげで少しずつ慣れていきました。ゼミや実習を通して成長できたかなと思います。

森:専門職として成長するために、実習は欠かせません。崎山さんは実習を通して、自分の意志を伝えられる強さが身に付いたと感じます。

崎山:今後、現場で仕事をしていく上で、自分から提案する機会も増えると思います。ゼミや実習での経験を生かして、しっかりと根拠を持った提案をしていきたいです。

森:根拠のある支援や介護をすることはとても大切です。今まで積み重ねてきたことに自信を持って、現場で生かしてくださいね。

Student's Voice

実技授業や実習で積んだ経験を生かし相手の気持ちに寄り添う介護を。

福祉援助学科 介護福祉コース 卒業

崎山 依織里 さん(福井県立若狭高等学校 出身)

介護を経験している親戚や、社会福祉士の資格を持つ姉の影響で、高齢者福祉や介護に関心を持ちました。本学は、卒業と同時に社会福祉士国家試験の受験資格が得られ、介護福祉士とのダブルライセンスも目指せることを知り、入学を決めました。介護福祉コースは、少人数での実技授業がたくさんあるのが魅力です。グループワークでは、先生や先輩たちのサポートのもと、学生同士で話し合い、助け合いながら技術を磨きました。毎年実習もあるため、現場を知る機会も多く、少しずつ自信を持てるようになりました。卒業後は、地元の介護老人保健施設に介護職として入職します。利用者さんやご家族の気持ちに寄り添った介護を目指していきたいです。

My Choice 森ゼミ

森ゼミは高齢者支援の中でも特に、家族介護者への支援や多職種連携をテーマとしているのが特徴です。私は高校時代からこのテーマに関心があり、森ゼミを選択しました。卒業論文では、認知症家族介護者の困難に対して、ボランティアがどのようにケアしていくのか、ボランティアに対して専門職はどのように関わっていくのか、認知症サポーター制度に着目して研究しました。

Close-Up Seminar

学生×教員対談



福祉援助学科 介護福祉コース 卒業

崎山 依織里さん

福祉援助学科

森 千佐子 教授

Field Report —ゼミの現場から—

高齢者や家族介護者への支援や、多職種連携をテーマとしている森ゼミ。ゼミ内での発表やディスカッションだけでなく、他大学との合同研究会を実施し、理学療法士といった他の職種を目指す学生とも意見交換を行うなど、広い視野を持って学びを深めることができます。

先進的な施設・設備 学びを支える

図書館

中央社会事業協会(現:全国社会福祉協議会)「社会事業研究所図書室」の蔵書を引き継いで1951年(昭和26年)に開設しました。「大学附属図書館」として、そして地域に開かれた「社会事業図書館」としても機能しています。

大学の図書館は、高校の図書室や公共図書館と違い、学生が入学してから卒業するまでに必要な知識と出会う場所です。専門的な教育・研究に役立つ情報(資料)を提供している学習の場であり、気軽につどえる居場所となっています。



図書館内には、資料を閲覧する場所のほか、学びに集中できる設備環境が整っています。

レポート作成が捗ります!



コンピュータールーム

学生が自由に使用できるパソコンが50台設置されており、レポート作成や卒論執筆などの自習用に利用されています。

仲間と夜まで切磋琢磨!



夜間閲覧室

夜間閲覧室(32席)は、図書館閉館後、24時まで学習できます。特に試験前、卒論提出時期、社会福祉士国家試験前に多く利用されています。

落ち着いた空間です!



3F 閲覧コーナー

武蔵野の面影を残す雑木林を間近に、ガラス張りの明るい閲覧コーナーがあります。同じフロアには視聴覚室やリフレッシュコーナーも備えています。

福祉の大学らしい光景です!



子ども福祉図書館

子どもの時から福祉にも興味をもってもらう目的で「子ども福祉図書館」を設置しました。大型本や他言語の図書が所蔵されています。

国家試験対策ばっちり。



国家試験対策コーナー

3Fに国家試験対策コーナーも整備されています。国家試験対策参考書・問題集を豊富に配架しています。

さまざまな企画展示を行っています。



企画展示コーナー

展示中の本も貸出または閲覧できます。

貴重図書室

※主な貴重書は、本学Webサイト「デジタルライブラリ」にて公開しています。



本学図書館の特徴は、約26万点の蔵書数があり、主に社会福祉およびその関連領域の資料が豊富に所蔵されていることです。そのなかには、明治・大正期の文献をはじめ、社会福祉の研究にとって重要な資料が多く、中でも約2,000点の貴重書が「貴重図書室」に所蔵されています。そのため、本館は在学生のみならずさまざまな福祉現場で活躍している卒業生や、他大学の教員・学生などにも広く利用されています。



▶休館日:日曜日、国民の祝日、夏季休業日(8月13日~15日)、年末年始(12月28日~1月4日)、その他本学が定める日

本館では「車いす用閲覧デスク」「拡大読書器」「音声拡大読書器」を設置しており、障がいのある学生も安心して学習できる環境の整備に努めています。

国際交流

日本を代表する社会福祉教育のモデル校である本学は、古くからヨーロッパ、アジア、アメリカなどの社会福祉系大学との学術交流が活発で、毎年各国から研究者を迎え入れています。

世界の最先端の研究に触れる福祉の学びはグローバルの時代に

本学は、研究者の交流やスタディーツアーなどの実践的国際交流を実施しています。また、アジア諸国の社会福祉の発展と国際協力を担うため、本学附属の社会事業研究所に「国際・アジア福祉研究教育センター」を設置、アジア諸国などの社会福祉の発展に寄与する研究と本学の国際交流事業の推進を図るため、研究交流会などを開催し、各国への情報提供や交流を深めています。

主な交流内容

1 学生の交流

海外スタディーツアー
本学では、国際ソーシャルワークを实地体験するスタディーツアーを実施しています。

2 国際セミナーの開催

アジア諸国をはじめ、世界各国の研究者、行政関係者、NGO関係者などが一堂に会する国際研究交流会を開催しています。

3 研究者の交流

- ①海外からの派遣研究員の受け入れ
- ②教育研究者のアジア諸国への派遣



2023年度は韓国で現地の方々と相互の社会福祉研修及びワークショップを実施しました。



27回目(2023年度)となる環太平洋社会福祉セミナーは、「グローバル時代における日豪のソーシャルワーク実習教育に関する共同ワークショップ」をテーマに開催しました。

交流協定校



交流実績のある国々

〈アジア〉インド・インドネシア・韓国・カンボジア・シンガポール・スリランカ・タイ・中国・ネパール・フィリピン・ベトナム・マレーシア・モンゴル・ラオス
〈ヨーロッパ〉アイルランド・イギリス・イタリア・オーストリア・オランダ・スイス・スウェーデン・スペイン・スロヴェニア・デンマーク・ドイツ・ノルウェー・フィンランド・フランス(その他)アメリカ合衆国・ウガンダ・オーストラリア・カナダ・ニュージーランド・メキシコ・レバノン

学びを拡げる 幅広いフィールド・プログラム

CAMPUS LIFE



@J MRP @IBKA > O

4

- 入学式
- オリエンテーション
- 編入生交流会
- 前期授業開始
- オリエンテーション・フェスティバル
- アカデミック・アドバイス

アカデミック・アドバイス

アカデミックプランニング*・アドバイザーの教員が、学生と学習や学生生活について個別面接をし、より充実した大学生活を送れるように伴走者の役割を担います。

*アカデミックプランニング…学生がe-ポートフォリオを用いて、自身の学習や活動を記録し、多面的に計画し、評価・振り返りを行うことによって、大学生活を充実させる科目です。

5

- 卒業研究テーマ届出

入学式

学生生活の始まりです。当日は、各サークルの先輩たちが新入生を迎えます。

6

- 社会福祉学会
- アカデミック・アドバイス

オリエンテーション・フェスティバル

人権について理解を深め、学生同士の交流を深めるイベントです。

7

- 卒業研究中間報告会
- ソーシャルワーカーデー

ソーシャルワーカーデー

7月20日海の日にはソーシャルワーカーに対する関心と理解を拡げる象徴の日です。

8

- 前期授業終了
- 夏季休暇開始

9

- 夏季休暇終了
- 後期授業開始

10

- 防災・避難訓練
- 社大祭

社大祭

社大祭実行委員を中心に、子どもたちが楽しめる企画も多数用意されています。

11

- 介護の日

介護の日

11月11日は「いい月、いい日」にかけた、介護について理解と認識を深めるための日です。

12

- 冬季休暇開始

1

- 冬季休暇終了
- 後期授業終了
- アカデミック・アドバイス
- 介護福祉士国家試験

2

- 社会福祉士国家試験
- 精神保健福祉士国家試験

3

- 卒業式(学位授与式)
- 世界ソーシャルワークデー

卒業式(学位授与式)

4年間のキャンパスライフを締めくくる日です。楽しい思い出とともにソーシャルワーカーへの道を歩みだします。

クヌギや桜などの緑に囲まれた本学キャンパスは、都会の喧騒から離れた心落ち着く環境にあります。ユニバーサルデザインの徹底や専門的な施設の充実など、福祉を学ぶ拠点らしい機能が備わっています。



本学Webサイトではキャンパスを360°見ることができます。こちらからご覧ください。

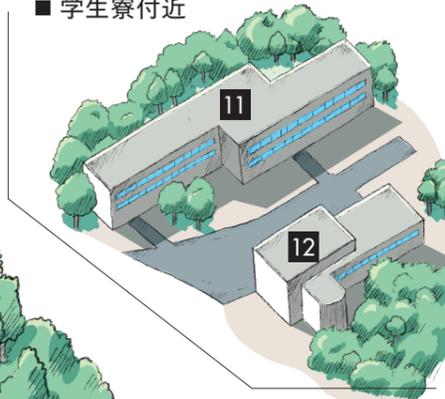
ユニバーサルデザイン対応

すべての学生や来訪者が快適に過ごせるよう、細部まで行き届いたユニバーサルデザインのキャンパスを目指しています。車椅子での移動がしやすいのはもちろん、視覚障がいや聴覚障がいに対応した設備も整えています。

- ①車椅子の方でも安心して移動できる環境です。
- ②管理棟の入り口に案内板を設置。点字と音声で構内を案内します。
- ③キャンパスのいたるところに点字ブロックを敷いています。



■ 学生寮付近



PICK UP

1 介護実習棟 福祉現場の動向に対応した施設。ユニバーサルデザインで、あらゆるケースに応じた実習を行います。



ユニットケア実習室

一般家庭のようなつくりになっており、リビングでユニットケアやグループホームの介護技術を学びます。



介護実習室・講義室

ベッドサイドケアの実習室です。機能的に介護理論と技術を修得します。



床上介護実習室

寝転んで床上で運動できる量のスペースです。



福祉機器活用室

歩行者、車椅子などの福祉機器に触れ、使い方を学びます。



入浴実習室

家庭用の個浴や特殊浴槽(機械浴)での入浴介護を学習する実習室です。

2 研究棟

教員の研究室のほか、コンピュータ室やピアノ練習室などがあります。



3 管理棟

学生支援課や相談室など、学生生活を快適に送るためのサポートルームがそろっています。



5 教学B棟

教壇を中心に階段状に約300席が設けられた階段教室があります。



7 厚生棟

学生生活の必需品がそろった売店や学生食堂、サークルの部室があります。



9 講堂

入学式や卒業式、学内学会のほか、公開講座など学内外のイベントにも使用します。



4 教学A棟

学生の憩いの場であるロビーをはじめ、少人数授業で利用するゼミ教室があります。



6 教学C棟

1階には個人で利用できるロッカー室や、ラウンジがあります。



8 体育関連施設

グラウンドとテニスコート2面と、2階建ての体育館があります。



10 図書館

本学自慢の図書館です。蔵書数は約26万点にのぼります。江戸・明治期の慈善・救済事業に関する文献をはじめ、戦前・戦後の貴重な図書・資料を豊富に所蔵しています。

[Check! P47](#)

11 学生寮

キャンパスから徒歩約10分の場所にあります。緑豊かな「松窓寮」では約160名の学生が共同生活をしています。

[Check! P54・57](#)

12 附属実習施設「子ども学園」

児童福祉法に基づく児童発達支援センター(定員30名)です。本学の附属実習施設としての機能も備えています。

[Check! P08](#)

13 「百日紅の木」跡地



小説家・福永武彦ゆかりの場所

14 おかあさんの木 おとうさんの木



清瀬の名木・巨木百選No.100

15 アガベ像



本学のシンボル

自宅通学

趣味も、学びも。
1日のQOLを高めるのは
徹底した朝の生活習慣。

福祉援助学科 2年 石井 結莉 さん



通学に時間がかかり、乗るべき電車が決まっているので朝のスケジュール管理は徹底しています。早起きによって生活習慣が整うのでメリハリのある1日を過ごせるのが自宅通学の魅力です。大学では「ソーシャルワークとは何か」について歴史や法律などを通して学び、基礎的な知識や価値を蓄えています。課外活動では重度訪問介護や学童保育などのアルバイトを経験。やりたい学びを深める一方で、

プラスバンドやマーチングバンドでの演奏のために、楽器の練習に励みます。

重度訪問介護のアルバイトは、身体障がいを持った利用者さんのお宅へ訪問し、家事を援助しています。

アルバイト

移動・帰宅

フリータイム

睡眠

移動・帰宅



TOPICS

平日	6:00	休日	6:00
起床・身支度	7:00	起床・身支度	7:00
通学	8:00	移動	8:00
講義準備	9:00		9:00
講義	10:00		10:00
	11:00		11:00
昼食	12:00		12:00
	13:00		13:00
講義	14:00		14:00
	15:00		15:00
	16:00		16:00
	17:00		17:00
	18:00		18:00
	19:00	移動・帰宅	19:00
	20:00		20:00
	21:00	フリータイム	21:00
	22:00		22:00
	23:00	睡眠	23:00
	24:00		24:00

寮生活

福祉を学ぶ仲間と。
寝食を共にして
より濃い学生生活。

福祉計画学科 2年 齋藤 輝心 さん



一歩部屋を出れば同級生に会える寮という環境は、福祉を学ぶ仲間と過ごす時間が濃密で、楽しい日々を過ごせます。寮の友人とは寝食を共にするだけでなく、都心に



買い物をするとき一緒に行くことも。また、先輩たちと話す機会もたくさんあって、学業や就職活動等で準備しておくべきことを聞けるのも魅力です。発達障がい児支援のデイサービスのボランティアをしたり、バレーボール同好会に所属したり、関心のあることを突き詰め仲間たちと実りのある大学生活を送っています。

平日	6:00	休日	6:00
睡眠	7:00	睡眠	7:00
起床・身支度	8:00	起床・身支度	8:00
通学	9:00	アルバイト (放課後等デイサービス)	9:00
講義	10:00		10:00
	11:00		11:00
昼食・課題	12:00		12:00
	13:00		13:00
講義	14:00		14:00
	15:00		15:00
	16:00	移動・帰宅	16:00
	17:00	寮の友人と ゲームや外食	17:00
	18:00		18:00
サークル活動	19:00	フリータイム	19:00
寮の友人と夕食	20:00		20:00
	21:00	移動	21:00
課題・読書・ テレビを見る	22:00		22:00
	23:00	夜勤アルバイト	23:00
	24:00		24:00

所属するバレーボール同好会で、汗を流しています。活動中は最近あったことや講義内容についてお話ししています。

発達障がい児を支援するデイサービスでは、勉強を教えたりトレーニングを手伝ったりしています。

ボランティアサークルの地域での活動

高齢者施設・障がい者施設での継続的なボランティア、児童養護施設での学習支援、保育所・児童館などでの人形劇・児童劇の上演など、サークル単位で幅広い活動を行っています。

子ども食堂

子育て支援団体や福祉施設が実施する「子ども食堂」にボランティアとして参加するだけでなく、本学の学生が主体となって「子ども食堂」を継続的に開催しています。困難を抱える子どもや家庭への支援、多世代が交流する場として機能しています。

復興カフェ

被災地支援を目的とした学生有志団体「Cocoa」による被災地支援プロジェクトです。定期的に、被災地(気仙沼や熊本など)の銘菓や飲み物、手作り小物を販売し、その収益を被災地へ寄付しています。

さんさんさん

「まちづくり」をテーマに地域を中心として活動するボランティアサークルです。大学のある清瀬市内を中心にさまざまなイベントに参加し地域の方々と交流しています。「地域住民と関わりたい」「ボランティアをしたい」「わくわくするイベントに運営側として携わりたい」など、参加するメンバーの動機はさまざまです。多方面での活動や交流を通して、新たな学びと体験ができます。



キャンパスから歩いて10分
緑に囲まれた「松窓寮」

自治寮だからこそ、責任を伴いながら自主的に運営しています。掃除など寮全体の仕事は当番制で寮生が担当します。

全国から集まった仲間たちと送る共同生活

寮生活の魅力は、入学前から同級生はもちろん、学年を超えたつながりができることです。さらに地域の方々ともお話できるのが寮生活ならではの楽しみです。個性豊かな全国から集った仲間たちとの学生生活も人生経験の糧となります。

Check! P57

松窓寮基本情報

定員	172名 (身体障がい者用居室男子1室(1名)、女子1室(1名)を含む)	寮費	2,700円/1ヵ月
居室	2人部屋 (机、椅子、ベッド、クローゼット各1対及びエアコン設置)	水/光熱費	10,000円/1ヵ月 (後日、差額を精算します)
		共用施設	食堂・風呂・調理室(ガスレンジ、電子レンジ、給湯器など)・洗濯室(全自動洗濯機)・洗面所・トイレ・談話室・防災設備・Wi-Fi

福祉ボランティア系の活動が多いことが特長です。実習以外にも福祉の経験を積みたいという学生が積極的に参加しています。



その他

- 学生自治会
- 社大福祉ネットワーク
- 社大祭実行委員会
- 学生生活向上委員会
- サークル協議会
- オープンキャンパス委員会

体育系

- バスケットボールサークル "GO-Getters"
- Dance部
- バレーボールサークル
- バドミントンサークル
- 準硬式野球部
- フットサルサークル ぶちとまと
- 硬式テニス部
- 卓球サークル
- ワンダーフォーゲル部
部員たちで決めた山へ登山に行きます。下山後は、河原でBBQやキャンプを満喫します。

文化系

- 混声合唱団 菩提樹
- ブラスバンドサークル
- マンドリンアンサンブル
- 軽音サークル
- 華道同好会ちろる
月2回、ふれあい通り横の喫茶店「チロル」で池坊の先生に教わって、生け花に取り組みます。

ボランティアサークル

- なかまよぐる〜ぶ**
知的障がいのある子どもたちと一緒に、工作や遠足などレクリエーション活動を楽しんでいます。
- 児童文化部**
保育所の子どもたちに人形劇を披露します。
- プレイケアサークル おもちゃばこ**
年齢に関係なくプレイケアで笑顔を創ることがモットーです。
- 演劇研究会**
自らが楽しむ演劇を目指し、年に3〜4回の公演を行います。
- 言葉**
福祉施設などさまざまな場でイベントを実施し、社会福祉の担い手となるべく実践的な活動を行っています。
- いちご**
ろう学生が主体となって聴学生と共に活動する手話サークルです。
- ボランティアサークルHi-Ho!**
清瀬市に住む高齢者や障がいのある方々と一緒に、レクリエーションやお出かけなどの行事を企画・実行しています。
- 学生有志団体Cocoa**
災害復興支援を目的とした活動を行います。月に1回、被災地の支援金を募る復興カフェを開きます。
- さんさんさん**
清瀬市内で地域の方々と共に夏祭り、陸上競技大会、市民まつりなどのイベントを通して交流します。
- 社大BBS会**
更生保護を目的とした青年ボランティア団体です。更生保護に関する啓発運動への参加、子ども食堂の開催、更生保護施設などへの見学などの活動を行っています。
- 幻灯会**
児童養護施設「子どもの家」で学習支援を行います。

GUIDE MAP

大学周辺の魅力的なスポットを紹介します。「保健・医療・福祉の地」と呼ばれる清瀬は、都心からのアクセスがよく、豊かな自然と生活の営みが融合する穏やかな街です。駅前にはお食事処や、文化的な施設もあり、街散策も楽しめます。



駅周辺のおススメ グルメスポット

新しくできた今どきのお店から、昔ながらの味わいを残す喫茶店まで、清瀬駅前には充実しています!

ボランティアセンター

学生によるボランティア活動を支援し、その推進を図るため、日本社会事業大学ボランティアセンターを設置し、コーディネーターを配置しています。ボランティア情報の提供の他、ボランティア探しのお手伝い、サークル活動への助言など、さまざまな相談も受け付けています。

学生スタッフ「1step」の活動
ボランティアセンターを拠点に活動している学生有志団体です。本学の学生が地域のボランティア活動に取り組む契機となるイベントや勉強会などを開催しています。

● 地域交流イベントの企画・参加

交流イベントに企画から参加します。地域の方と落ち葉清掃をしました。

近隣小学校で焚火を利用した調理体験などを実施しました。

● 社協×1step ポラカフェ

学生に地域のさまざまな活動を紹介し、ボランティア体験に繋げるイベントを開催しています。学生スタッフもコーディネートのお手伝いをしています。

<p>1 考えた人すごいわ #「魂仕込」のぜいたく食パン #おすすめはぶどうパン「宝宝箱」</p>	<p>2 香建大飯店 #名物は皮から手づくりの点心 #中華風の店内も必見</p>	<p>3 コーヒーハウス チロル #昭和レトロ #コーヒーが香り高い</p>	<p>4 キッチンズズキ #ボリューム満点 #衣がサクサクなエビフライ</p>
<p>5 レバナ定食 KEI楽 #唯一無二のレバナ専門店 #おなか一杯になること間違いなし</p>	<p>6 丸栄のパン #ボリューム満点 #食べたいパンが見つかる</p>	<p>7 金の家 #本格派韓国料理! #チーズと絡ませて</p>	<p>8 うどん亭なべいき #優雅な店内でつるつるうどんに舌鼓 #自家製ケーキもおすすめ</p>

学生生活支援

学生が健全な心身を維持し、充実した大学生活を送ることができるよう、さまざまな支援体制をととのえています。

キャンパスライフ支援



キャンパスソーシャルワーカー(CSW)が、学生生活全般にわたるサポートをしています。学業、経済的問題、家族や友人、留年・休学など学生生活に関する相談を受け付けています。

学生相談室



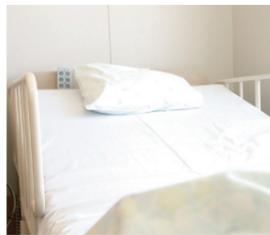
カウンセラー(臨床心理士)が、より充実した学生生活を送れるように心のサポートをしています。何かに悩んでいるとき、どうしたらいいかわからなくなったとき、だれかと話したくなったとき、どんなことでもカウンセラーと話し合えます。

学修環境支援



障がいのある学生や学習に困難を抱える学生に対し、さまざまな支援を行っています。また「学修環境コーディネーター」による支援も提供しています。
・授業時の情報保障(ノートテイク、パソコンテイク、教材データ加工など)
・入学前の事前ヒアリングや在学時の個人面談(要望調査)など

保健室



保健室では、心と体の健康に関する相談ができます。必要に応じて、医療機関の紹介も行っています。また月に1回、校医による健康相談日を行っています。医療機関に行くほどではないけれど医師に相談してみたいときなど、予約して相談ができます。

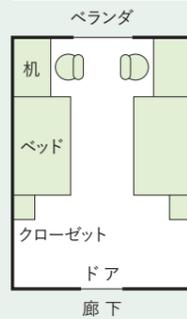
住まいの支援 Housing information

しょうそうりょう 松窓寮



緑の中にたたずむ松窓寮で 自主性が身につく共同生活を!

豊かな緑に包まれた松窓寮は、キャンパスから徒歩約10分です。自治寮なので、自分たちが暮らす寮のことは自分たちで責任をもち、自主的に運営していくことが生活の基本です。生活を円滑にするため、会計部・整備部・厚生部・食事部などが設けられ、掃除や夕食の後かたづけなど、毎日の生活に必要な仕事は、寮生全員が当番制でやり遂げています。歓迎会、オリエンテーションなどの楽しいイベントも盛りだくさんです。



Check! P54

日々の暮らしから地域社会に溶け込んで コミュニティづくりに参加!

本学と東京都住宅供給公社との連携協定により、学生は大学からアクセスの良い「久留米下里住宅」に入居し高齢化傾向にある団地住民の方たちと交流し、地域共生社会に根差したコミュニティの創出や地域活性化を共にめざしながら学生生活を送ることもできます。



久留米 下里住宅



編入学

自ら幅広く現代社会における課題を探求し、さまざまな問題について解決する能力を養うことや、その努力を重ねることを惜しまない方を求めています。

学部3年次編入の特長

- 1 多様な経歴・視点を学びのプラスにし、基礎からしっかり学べます。
- 2 短期大学以上を卒業(見込みを含む)、または4年制大学に2年以上在学し62単位以上取得、または専門士(福祉、保健、医療、教育系専門課程)を取得している方、高等学校の専攻科の課程を修了(見込み)の方が受験できます。
- 3 一般、推薦(短期大学からのみ)、社会人の区分があり、幅広い年代の方が入学しています。入学試験は、小論文と面接です。
※詳しくは入学試験要項をご確認ください。

●入試について

福祉計画 学科	募集人員
福祉援助 学科	各10名

●単位認定

- 1 一般教育科目の25単位は履修したものとみなし認定します。
- 2 専門教育科目は、本学開講科目と同一の科目および単位数を履修している場合は、30単位を超えない範囲で科目読替を行うことができます。
※ただし、実習、演習および卒業研究などについては科目読替を行いません。

●社会人に対するキャリアステップ

編入学を経て、研究大学院や専門職大学院に進学する道があります。実践的研究者や高度な福祉実践者を目指す方を歓迎します。

Check! P09

編入生が取得できる資格

所定の単位を取得した方は、次の資格が得られます。

- 社会福祉士国家試験受験資格
- 社会福祉士(任用資格)
- 身体障害者福祉士(任用資格)
- 知的障害者福祉士(任用資格)
- 児童指導員(任用資格)
- 認定スクールソーシャルワーク課程(修了認定)

※短大などで小学校・中学校・高等学校または幼稚園教諭免許などの基礎免許を取得していれば、特別支援学校教諭一種免許状も取得することができます。

▼3年次編入生スケジュール

年間行事はP.49-50をCheck

	教育課程など	就職対策	国家試験対策		
1年目(3年次)	4月	●入学式 ●編入生交流会 ●オリエンテーション・健康診断	●公務員試験対策ガイダンス ●公務員地方上級模試 ●就職セミナー	●国家試験対策講座 資格取得はP.15-16をCheck	
	5月		●法人合同説明会 ●更生保護出張講座		
	6月		●市役所模擬試験 ●同窓会就職相談会		
	7月		●法人合同説明会	●全国統一模擬試験	
	10月	●社大祭			
	11月		●福祉の仕事就職ガイダンス ●就職活動準備講座		
	12月		●公務員福祉職ガイダンス ●公務員筆記試験対策講座・ガイダンス	●社会福祉士トライアル模試	
	2月	●ソーシャルワーク実習(60時間)			
	3月				
	2年目(4年次)	4月	●オリエンテーション・健康診断	●公務員試験対策ガイダンス ●公務員地方上級模試 ●就職セミナー	●国家試験対策講座
		5月	●卒業研究テーマ届提出	●法人合同説明会	
		6月		●市役所模擬試験 ●同窓会就職相談会	
7月		●卒業研究中間報告会	●法人合同説明会	●国家試験対策講座 ●全国統一模擬試験	
8月				●国家試験対策講座	
9月		●ソーシャルワーク実習(180時間)		●国家試験対策講座 ●国家試験手続ガイダンス	
10月		●社大祭		●全国統一模擬試験	
11月		●卒業研究提出	●福祉の仕事就職ガイダンス(対象:3年生以下)	●全国統一模擬試験 ●国家試験対策講座	
12月		●卒業研究口述試験	●公務員福祉職ガイダンス(対象:3年生以下)	●全国統一模擬試験 ●国家試験対策講座	
2月			●公務員筆記試験対策講座・ガイダンス(対象:3年生以下)	●社会福祉士国家試験	
3月		●卒業式(学位授与式)			

入試概要

ソーシャルワークを主体的に学ぼうとする意欲がある方を求めています。
さまざまな入試区分がありますので、自分にあった受験方法を選択してください。

試験場は
清瀬キャンパス

全入試区分
Web出願

- 入学試験要項(願書)の資料請求が不要
- 24時間いつでも出願登録ができる
- 入学検定料の支払いもWebからできる

※各入学者選抜の詳細は
「入学試験要項」をご確認ください。



▼入試概要 (2025年度)

入試区分	募集人員		選考方法	出願期間	試験日	合格発表日		
	福祉計画 学科 55名	福祉援助 学科 105名						
総合型選抜	9名	16名	第一次選考	書類選考	9/13(金)	-	10/11(金)	
			第二次選考	小論文、面接	9/24(火)			10/19(土)
学校推薦型選抜	20名	40名	教養試験(英語・国語)、小論文、面接		11/1(金)	11/16(土)	12/2(月)	
			面接		11/11(月)			
一般選抜	前期日程	15名	30名	外国語	「英語コミュニケーションI、コミュニケーションII、論理・表現I」	1/6(月)	2/1(土)	2/7(金)
				国語	「現代の国語、言語文化」			
				地理歴史・公民、数学	「歴史総合、日本史探究」「歴史総合、世界史探究」「公共、政治・経済」「数学I、数学A」(4科目中1科目選択)			
				後期日程	4名	6名		
国語	「現代の国語、言語文化」	2/14(金)						
				面接				
大学入学共通テスト利用選抜		7名	13名	3教科3科目(本学独自の個別試験は実施しない)		1/6(月)	1/18(土)	2/10(月)
						1/24(金)	1/19(日)	
私費留学生選抜		若干名	若干名	教養試験(英語を含む)、小論文(日本語)、面接		10/1(火)	11/2(土)	11/13(水)
						10/11(金)		

3年次編入学選抜

▼入試概要 (2025年度)

学科	入試区分	募集人員	選考方法	出願期間	試験日	合格発表日
福祉計画学科	一般	3名	小論文 (教養試験を含む) 面接	10/1(火) 10/11(金)	11/2(土)	11/13(水)
	推薦	3名				
	社会人	4名				
福祉援助学科	一般	3名	小論文 (教養試験を含む) 面接	10/1(火) 10/11(金)	11/2(土)	11/13(水)
	推薦	3名				
	社会人	4名				

▼入試結果 (2024年度)

学科	入試区分	定員	志願者	受験者	合格者
福祉計画学科	一般	10	7	7	6
	推薦		1	1	1
	社会人		0	0	0
小計①		10	8	8	7

学科	入試区分	定員	志願者	受験者	合格者
福祉援助学科	一般	10	8	8	7
	推薦		2	2	2
	社会人		0	0	0
小計②		10	10	10	9
合計①+②		20	18	18	16

受験上の 配慮について

本学では、障がいなどのために受験に際して配慮を希望する志願者に対し、障がいの種類や程度にあわせて、試験の内容および受験に関する環境上の配慮を行っています。

[配慮の例] 点字による受験、試験時間の延長、別室受験、試験室内における介助者の付与、手話通訳者・パソコンタイカーの付与、その他障がいの種類や程度ごとの配慮。

受験に際し、配慮を必要とする場合には、準備の関係上必ず、出願開始日の1ヶ月以上前に所定の申請書を提出し、必要に応じてご相談ください。

※上記の申請のない場合は、受験上の配慮ができない場合があります。また、本学としては、施設などの改善に努力していますが、すべてのご要望に対応できるとは限りません。入学後の学習・学生生活については、必要であれば事前にご相談ください。なお、個人情報の取り扱いについては、個人情報保護法の趣旨にのっとり、適切に取り扱います。以上のことは、可否には関係ありません。

▼入試結果 (2024年度)

学科	入試区分	定員	志願者	受験者	合格者	
福祉計画学科	総合型選抜	9	32	32	26	
	学校推薦型選抜	一般推薦	16	5	5	5
		福祉系高等学校等推薦	2	1	1	1
		特定地域高等学校推薦	2	0	0	0
		前期日程※1	15	49	48	42
	後期日程	4	3	0	0	
	大学入学共通テスト利用選抜	7	46	46	32	
	私費留学生選抜	若干名	0	0	0	
計		55	136	132	106	

学科	入試区分	定員	志願者	受験者	合格者	
福祉援助学科	総合型選抜	16	84	84	66	
	学校推薦型選抜	一般推薦	34	21	21	19
		福祉系高等学校等推薦	3	0	0	0
		特定地域高等学校推薦	3	0	0	0
		前期日程※2	30	81	79	69
	後期日程	6	5	2	2	
	大学入学共通テスト利用選抜	13	73	73	46	
	私費留学生選抜	若干名	0	0	0	
計		105	264	259	202	

※合格者の数は、線上合格者数を含まない。

※1 2024年度福祉計画学科一般選抜[前期日程](300点満点)合格者の最高得点は257点、最低得点は145点、平均点は189.8点。(線上合格者の得点は除く)

※2 2024年度福祉援助学科一般選抜[前期日程](300点満点)合格者の最高得点は268点、最低得点は145点、平均点は191.5点。(線上合格者の得点は除く)



学費・奨学金

国から「福祉のリーダーの養成」を委託された本学は、国公立大学の標準額相当の教育費負担を実現。国だけでなく、本学独自の奨学金制度などがあり、負担を多方向から軽減できます。

学費

●社会福祉学部

費目	1年次	2年次	3年次	4年次	備考
入学金	282,000	—	—	—	入学時のみ
授業料(全納)	535,800	535,800	535,800	535,800	
(分納×2)	267,900	267,900	267,900	267,900	
教育充実費	200,000	180,000	180,000	180,000	
諸会費	14,000	—	—	—	入学時のみ
合計(全納)	1,031,800	715,800	715,800	715,800	
合計(分納)	前期分 763,900 後期分 267,900	447,900 267,900	447,900 267,900	447,900 267,900	

●編入学(3年次)

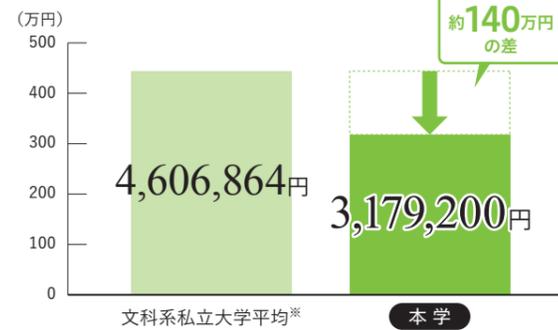
費目	3年次	4年次	備考
入学金	282,000	—	入学時のみ
授業料(全納)	535,800	535,800	
(分納×2)	267,900	267,900	
教育充実費	200,000	180,000	
諸会費	8,000	—	入学時のみ
合計(全納)	1,025,800	715,800	
合計(分納)	前期分 757,900 後期分 267,900	447,900 267,900	

●初年度納付金合計

全納	1,031,800円	分納	前期分 763,900円 後期分 267,900円
----	------------	----	---------------------------

●在学期間(4年間) 納付金総額

3,179,200円



Check! 国公立大学並の教育費負担で手厚い学びへの支援

4年間でかかる学費は大学により異なります。本学は他の私立大学と比べると、約140万円も軽減されており、各種奨学金などを活用すれば、さらに安心して勉学に励むことができます。経済的理由から大学進学をあきらめていた方も多く受験しています。

◀在学期間(4年間)納付金総額の比較

※「学生納付金調査」より(日本私立大学団体連合会/2023年6月)

奨学金制度

●本学独自 障害学生奨学金給付制度

基準	種別	金額	返還	募集
身体などの障がい起因して、修学上特別な経済的支出を必要とする学生	給付	年間教育充実費相当額を上限とする	返還義務なし	1月

●本学独自 日本社会事業大学外国人留学生授業料減免制度

留学生を対象に年間授業料の30%を減免する制度です。応募者のなかから審査により決定しますので、応募者全員が減免対象になるとは限りません。減免助金は、後期授業料から減免助金額を差し引きます。

●国による高等教育修学支援新制度

日本社会事業大学は、住民税非課税世帯およびそれに準ずる世帯を対象として、国が実施している「高等教育の修学支援新制度」(授業料等減免・給付型奨学金)の対象機関となっています。

修学支援新制度の概要についてはこちら
文部科学省「高等教育の修学支援新制度」

給付奨学金の概要はこちら
日本学生支援機構「給付奨学金」

●多様な奨学金の取得をサポート [実績のある地方公共団体および民間団体の奨学金制度]

東京都介護福祉士等修学資金/交通通児育英会奨学金/公益財団法人ヤマト福祉財団奨学金/公益財団法人鉄道弘済会奨学金/あしなが育英会奨学金/愛恵福祉支援財団ペイン記念奨学金/篠原欣子記念財団奨学金 ほか

OPEN 2024 CAMPUS

最新情報をSNSでお届け

オープンキャンパスや入試日程などの入試情報をSNSで発信中!



5/19日 6/9日 7/21日
8/3土・18日 10/27日

プログラム(予定)

- 社大ガイダンス ● 入試ガイダンス ● 授業体験
- 受験生応援企画(在学生合格体験談など)
- 学びの相談(教職員相談) ● 学生なんでも相談
- キャンパスツアー ● 学食体験 など

参加方法

本学Webサイトからお申し込みください。

日程・内容は変更になる場合があります。最新情報は本学Webサイトをご確認ください。 URL <https://www.jcsw.ac.jp/>

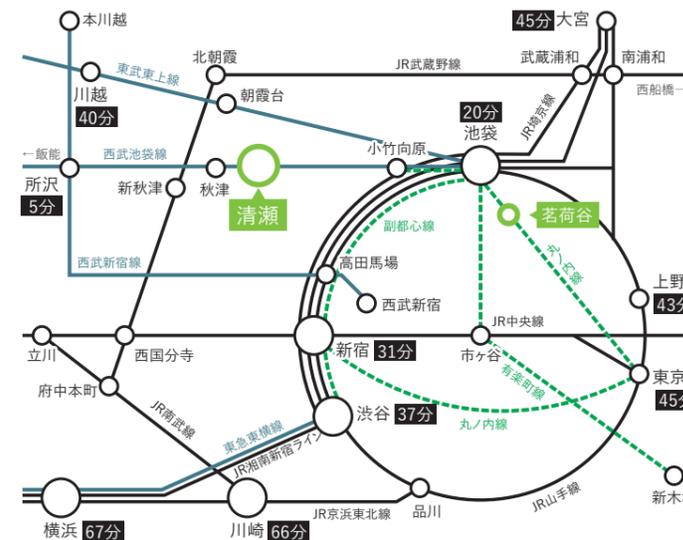
お問い合わせ | 〒204-8555 東京都清瀬市竹丘3-1-30 入試広報課 TEL.042-496-3080 FAX.042-496-3081



Access 都心へも快適アクセス 緑豊かな街、清瀬



※下記の時間は、清瀬駅までの所要時間です。※所要時間は目安です。乗り継ぎ時間・交通状況により変化する場合があります。



●清瀬キャンパス(大学・大学院)

〒204-8555 東京都清瀬市竹丘3-1-30



西武池袋線「清瀬」駅下車。南口バスターミナル2番乗り場より、西武バスに乗り「社会事業大学前」下車、徒歩すぐ。
・下里 地行(乗車時間6分):「社会事業大学前」下車、徒歩すぐ
・花小金井駅(乗車時間6分):「社会事業大学前」下車、徒歩すぐ
・滝山営業所行(乗車時間6分):「社会事業大学前」下車、徒歩すぐ

●文京キャンパス(サテライトキャンパス)

〒112-0002 東京都文京区小石川5-10-12



東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅下車、徒歩5分。駅前より春日通りに出て、後楽園方面へ。ファミリーマート手前を左折し、1つ目の信号を右へ。



日本社会事業大学

<https://www.jcsw.ac.jp/>

〒204-8555 東京都清瀬市竹丘3-1-30

代 表 / TEL.042-496-3000 FAX.042-496-3001

入試広報課 / TEL.042-496-3080 FAX.042-496-3081